

磐田市総合計画前期基本計画 評価・検証結果報告書

光と風・水と緑 ひとが、まちが、いま輝き出す
～自然あふれ、歴史・文化薫るゆとりと活力のまち～

平成 23 年 3 月

磐田市

目次

はじめに

1	はじめに	1
2	評価対象	2
	【施策の体系図】	3
3	評価の概要	4
4	評価の結果	5

基本目標の総括

1	環境にやさしいまちづくり	6
2	住んでよかったと思えるまちづくり	14
3	豊かな心を育み活躍できるまちづくり	23
4	安全・安心なまちづくり	34
5	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	43
6	交流と活力あるまちづくり	52
7	計画推進のために	59

はじめに

1 . はじめに

本市は、平成 17 年 4 月に 5 市町村が合併し、新市として初めてとなる「第 1 次磐田市総合計画」を平成 19 年 3 月に策定し、将来像に掲げた「光と風・水と緑 ひとが、まちが、いま輝き出す～自然あふれ、歴史・文化薫るゆとりと活力のまち～」の実現に向けて、各施策に取り組んできました。このたび、前期基本計画の計画期間（平成 19 年度から平成 23 年度）の終了を迎えるにあたり、これまでの取り組みの成果や残された課題を明らかにし、今後のまちづくりに活かしていくため、計画に位置づけられた事業等の実施状況の検証を行いました。

検証に際しては、これまでの取り組みや成果について、「指標の達成度」や「市民満足度」などの視点から評価を行い、その評価に基づいて「今後の課題」を抽出しました。本資料は、この結果を取りまとめたものです。

この中で明らかになった「今後の課題」については、後期基本計画の策定の指針として活用していきます。

2. 評価対象

施策は、将来像を実現するための7つの基本目標と、その基本目標を達成させる手法を示した基本施策から成り立っています。このうち、後期基本計画で見直す基本施策を具体的評価の対象としながら、併せて基本目標の評価としています。

将来像

光と風・水と緑 ひとが、まちが、いま輝き出す
～自然あふれ、歴史・文化薫るゆとりと活力のまち～

本市の掲げる将来像を補完する具体的なまちの姿を以下のように示しています。

自然

環境にやさしいまち

- ・ 自然環境の保全、省エネルギー・リサイクルの促進や新エネルギーの活用を通じて、持続可能な循環型のまちを目指します。

歴史 文化

誇りと感動を持てるまち

- ・ 歴史遺産や文化を継承、発展させながら、郷土愛と豊かな心を育み、市民が誇りと感動を持てるまちを目指します。

ゆとり

安全・安心に暮らせるまち

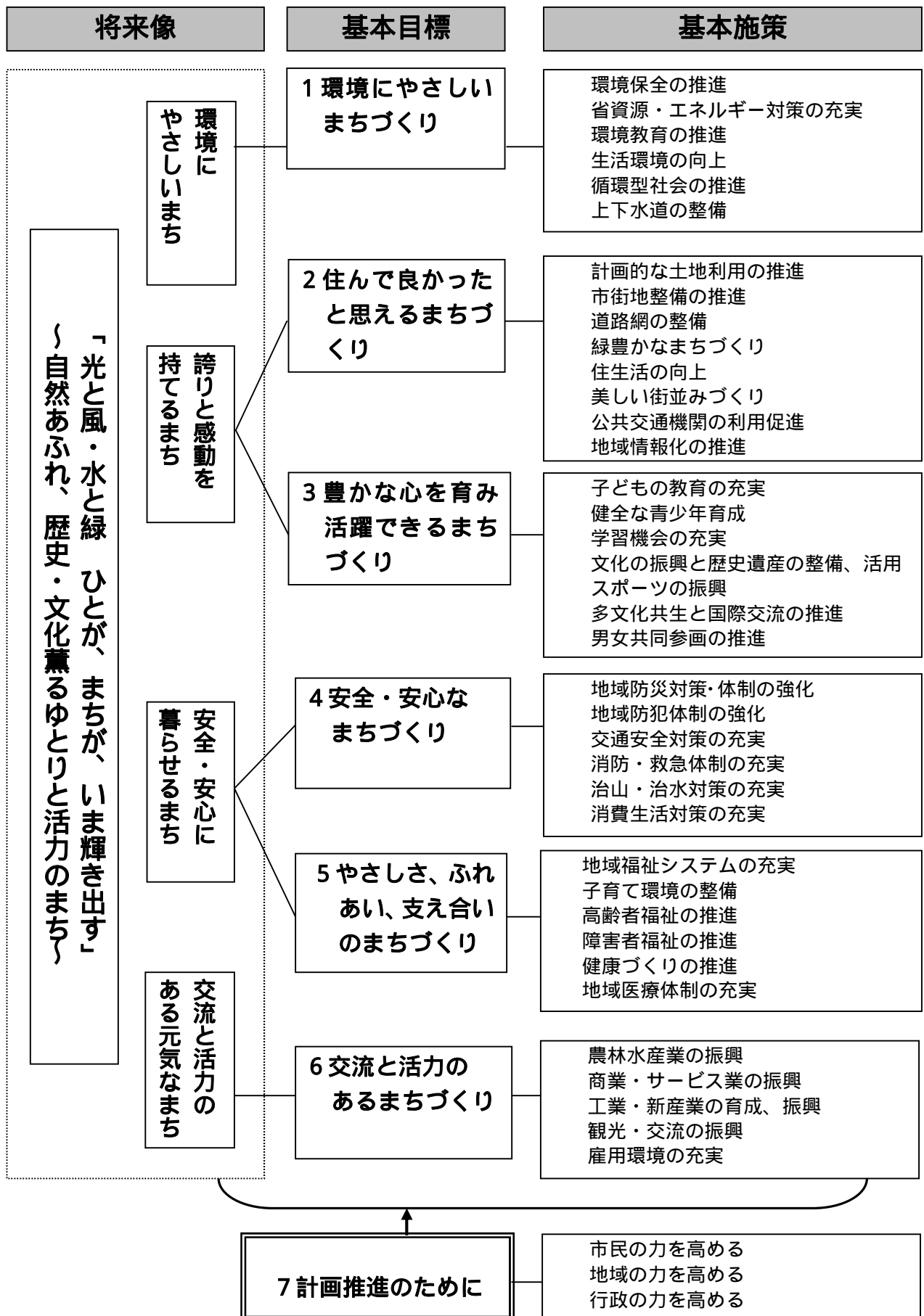
- ・ 防災・防犯対策や福祉を充実し、すべての人が、安全・安心に生き生き暮らせるまちを目指します。

活力

交流と活力のある元気なまち

- ・ 文化・スポーツを通じた交流の活性化、既存産業の育成や新産業の誘致により、活力ある元気なまちを目指します。

【施策の体系】



3 . 評価の概要

評価は、41 の基本施策に設定された指標の達成状況等及び、各基本施策に対する市民意識調査結果から得られた市民満足度を用いて、平成 22 年度末の進捗状況を評価しました。

なお、1 「上下水道の整備」は、「上水道」と「下水道」に、2 「文化の振興と歴史遺産の整備、活用」は「文化振興」と「歴史遺産」に分けて評価しているため、評価項目は全部で 43 になります。

評価の内容は、以下のとおりです。

- (1) 順調 (市民満足度が 3.1 以上)
指標が目標値を達成しており、市民満足度が高い。

- (2) おおむね順調 (市民満足度が 2.9 以上、3.1 未満)
市民満足度が平均付近である。
指標は目標値を達成しているが、市民満足度は低い。
市民満足度は高いが、指標が目標値を達成していない。

- (3) 遅れている (市民満足度が 2.9 未満)
指標が目標値を達成しておらず、市民満足度も低い。

4. 評価結果

前項の基準に基づき評価を行った結果、次のとおりとなりました。

(1) 全体結果

評価	基本施策数	割合
順 調	5	11.6%
おおむね順調	27	62.7%
遅れている	11	25.5%

小数点第2位以下を切り捨てているため、割合の合計が100%にはなりません。

(2) 基本目標ごとの結果

基本目標ごとに集計をした結果、次の表のとおりとなりました。

基本目標	順 調	おおむね順調	遅れている
1.環境にやさしいまちづくり	1 (14.2%)	5 (71.4%)	1 (14.2%)
2.住んでよかったと思えるまちづくり	0 (0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)
3.豊かな心を育み活躍できるまち	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)
4.安全安心なまちづくり	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0%)
5.やさしさふれあい支え合いのまちづくり	0 (0%)	6 (100%)	0 (0%)
6.交流と活力のあるまちづくり	0 (0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)
7.計画推進のために	0 (0%)	2 (66.6%)	1 (33.3%)

小数点第2位以下を切り捨てているため、割合の合計が100%にはなりません。

基本目標の総括

- 1 環境にやさしいまちづくり
- 2 住んで良かったと思えるまちづくり
- 3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり
- 4 安全・安心なまちづくり
- 5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり
- 6 交流と活力のあるまちづくり
- 7 計画推進のために

限られた資源を大切に、環境にやさしい循環型社会を構築していくため、自然環境の保全、省資源・省エネルギー対策の強化、資源のリサイクルシステムの確立、新エネルギーの活用促進とともに、環境にやさしい持続可能なまちづくりを目指します。

<前期計画期間の総括>

平成 20 年 3 月に「磐田市環境基本計画」を策定し、本市の恵まれた自然環境を行政のみならず市民や企業が協働して保全していくための指針を示すことができました。この計画の進捗管理は、「磐田市環境市民会議」において行われています。

環境の保全については、桶ヶ谷沼の保全活動、公害の監視・指導、鳥獣保護及び有害鳥獣駆除の事業に取り組みました。

省資源・エネルギー対策では、市役所において、庁舎や各施設に太陽光発電システムや LED 電球の導入を図り、節電に取り組ました。また、「エコアクション 21」に全市的に取り組み、節電に努めました。今後は市民や事業者への取組拡大に期待をしています。また、太陽光発電システム導入等への補助制度により、市民の省エネルギーへの取り組みを支援しました。

生活環境の向上への取り組みでは、全市一斉の環境美化活動の実施や河川海岸清掃美化活動の奨励、まち美化パートナー制度の導入により、行政だけでなく自治会・市民活動団体・事業者等による自主的活動による生活環境向上に向けた取り組みが進められました。

循環型社会の推進では、古紙等資源回収活動への奨励金交付や回収機会充実のためのリサイクルステーション設置数増加や休日回収の開始、廃食用油の回収からバイオディーゼル燃料の精製への循環システムの構築等、リサイクルの環境整備に努めました。また、市内スーパーマーケットとレジ袋有料化協定を締結し、省資源・ごみ減量のための制度を構築し、市民から高い評価を得ています。

さらには、環境に配慮した大型の新ごみ焼却施設の供用も開始しました。

上水道の整備では、安全な水を安定的に提供するため、水源となる水質検査を行うとともに、水道料金の適正化に向けた改定等により健全な運営に努めました。

下水道の整備では、公共下水道及び合併処理浄化槽等を含めた汚水処理人口普及率が 81.74%にまで向上しました。

今後の課題としては、一層の省資源・省エネルギー対策に向けた取組に加え、新エネルギーの導入に向けた積極的な研究を進める必要があります。

上下水道の整備については一層の経営健全化に向けた取組を進めるとともに膨大な施設の防災対策について検討する必要があります。

快適な生活環境に向けた取組では、河川や道路の美化行動や不法投棄防止について理解を深めるとともに、増加する直接的な活動への対策について検討する必要があります。

基本施策の進捗状況

1 ①環境保全の推進		環境保全課		
<p>環境保全の推進に向けて、①環境施策の総合的な推進、②自然共生型社会の将来世代への継承、③公害発生源の対策と監視体制の充実を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がやや高くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.15	満足度順位 (41施策中)	6位
	重要度 (5点満点)	3.79	重要度順位 (41施策中)	21位
(2) 主な事業と成果	<p>環境基本計画策定事業 ・平成20年3月に「環境基本計画」を策定し、計画の進捗状況は、「環境市民会議」において審議されている。</p> <p>桶ヶ谷沼自然環境保全事業 ・ベッコウトンボ調査会確認数 平成22年度 109匹</p> <p>自然環境リポーター制度運用事業 ・子どもたちへの自然環境教室を実施し、次代への環境保全意識の継承が図られた。</p> <p>鳥獣保護及び有害鳥獣駆除事業 ・野性傷病鳥獣保護依頼件数56件の内27件保護センターへ搬送。 ・鳥インフルエンザ対策による死亡野鳥調査件数が39件あった。</p> <p>環境調査監視指導事業(苦情処理) ・平成22年度の苦情件数は89件で前年比26件の減であった。</p> <p>環境保全意識啓発事業 ・市ホームページに「いわたの環境」を掲載。</p> <p>環境保全対策資金利子補給事業 ・県の環境保全資金貸付制度の利用がなかったため利子の補給がなかった。</p>			
(3) 指標の動き	市民満足度	目標値 (H23) 70%	実績値 26.6%	
	苦情発生件数	目標値 (H23) 70件	実績値 89件	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに平均値を上回っていますが、指標は目標値に達していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みの進め方について検討する必要があります。また、指標の設定について、十分に検討する必要があります。</p> <p>環境基本計画に基づく自然環境保全の継続実施 市民・事業者・行政それぞれの役割分担を明確化し、一体となった事業運営体制の確立 環境保全関係団体のネットワーク化推進による事業の効率的運用 市民への環境保全意識の啓発による不法投棄等の行為の抑制</p>			




1②省資源・エネルギー対策の充実		環境保全課		
<p>省資源・エネルギー対策の充実に向けては、①新エネルギーの活用促進、②地球温暖化防止対策の推進、③省資源・省エネルギー体制の確立と促進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価は低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.81	満足度順位 (41施策中)	33位
	重要度 (5点満点)	3.97	重要度順位 (41施策中)	14位
(2) 主な事業と成果	<p>新エネルギー・省エネルギー設備普及促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iプラザ、新ごみ焼却施設、市立総合病院、田原小学校に太陽光発電システムを、市立総合病院にLED照明を導入し、省エネルギー化を図った。 ・本庁舎・支所に「緑のカーテン」を設置し、夏の節電に寄与するとともに、市民への意識啓発を図った。 ・市民の取り組み促進のため、太陽光発電システム、太陽熱温水器及び自然冷媒ヒートポンプ給湯機設置補助制度を導入した。 <p>家庭版環境マネジメントモデル事業(～H20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でのエネルギー消費量の点検を機に省エネルギーを意識した生活に取り組む活動を66世帯で実施した。(アースキッズ事業に引継ぎ) <p>アースキッズ事業(H21～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3小学校215人の児童に各家庭でのエネルギー消費量のチェックをしてもらうことで、省エネルギーについての意識啓発を図った。 <p>バイコロジータウン推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に負荷のかからない自転車の利用促進を図った。平成22年度で廃止。 <p>地球温暖化対策実行計画推進事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21を全庁的に取り組み、地球温暖化防止に寄与するとともに、市民への啓発に努めた。 			
(3) 指標の動き	家庭版環境マネジメントモデル事業参加世帯数	目標値 (H23) 79世帯	実績値 (H20) 66世帯 1	
(4) 今後の課題	<p>重要度が高い反面、市民満足度は低く、指標も目標値を達成していないことから、成果の検証に基づきこれまでの取り組みについて見直していく必要があります。また、震災の教訓から、国・県の施策動向が大きく変化していくことが予想されます。</p> <p>新代替エネルギー施設の導入検討 公共施設への新エネルギーの継続導入及び節電対策 エコアクション21等による省資源・省エネルギー対策の市民や事業者への波及施策の検討</p>			


1 家庭版環境マネジメントモデル事業が、平成20年度をもって終了したため、最終年度の実績値を掲載。なお、平成21年度からは、新たにアースキッズ事業が始まり、小学校児童の取り組みから、各家庭への波及を目指している。

1③環境教育の推進		環境保全課		
<p>環境教育の推進に向けて、①環境教育推進体制の強化、②環境教育活動の推進、③環境保全啓発活動の推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.04	満足度順位 (41施策中)	19位
	重要度 (5点満点)	3.93	重要度順位 (41施策中)	16位
(2) 主な事業と成果	<p>環境保全団体支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察教室等の環境教育の指導体制を整備するとともに環境指導員の確保に努めた。 <p>環境調査監視指導事業【再掲(P12)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境指導員人材バンク <p>環境保全意識啓発事業【再掲(P12)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全講演会の開催 <p>桶ヶ谷沼ビジターセンター施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全講演会や桶ヶ谷沼ビジターセンターでの自然観察教室を開催し、市民への環境教育を実施した。 <p>環境保全意識啓発事業【再掲(P12)】(「もったいない」精神の啓発)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライトダウンキャンペーン、環境月間等の期間に合わせた環境保全啓発活動を実施した。 			
(3) 指標の動き	環境保全団体・環境指導員の登録件数	目標値 (H23) 50件	実績値 17件	
	講演会・観察教室等への参加者数	目標値 (H23) 300人	実績値 450人	
(4) 今後の課題	<p>重要度はやや高いものの、市民満足度は平均となっており、成果の検証に基づき、これまでの取り組みの方向性について十分に検討していく必要があります。また、1①環境保全の推進と重複する事業が多くあり、指標目標の設定と施策体系全体を見直していく必要があります。</p> <p>自然保護団体・環境保全団体の活動把握、及びネットワーク化による事業運営の効率化 講演会や自然観察教室の参加者拡大策を検討 環境保全活動への参加者・団体の拡大による環境保全意識の更なる啓発</p>			

1④生活環境の向上		環境衛生課		
<p>生活環境の向上に向けて、①環境美化活動の推進、②愛玩動物の適正飼育の推進、③火葬施設及び霊園の整備と適正管理の推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.04	満足度順位 (41施策中)	18位
	重要度 (5点満点)	4.05	重要度順位 (41施策中)	13位
(2) 主な事業と成果	<p>河川海岸清掃美化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会等による河川及び海岸美化活動を年数回実施した。 <p>まち美化パートナー制度推進事務(道路河川・公園)【再掲 P20】</p> <p>全市一斉環境美化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 全市一斉環境美化活動の実施やまち美化パートナー制度の導入により、自治会や市民団体、事業者による自主的活動の拡大を図った。 <p>ごみの不法投棄対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期回収、看板及び監視カメラ設置、雑草繁茂地の草刈指導、広報紙への啓発記事掲載等を行った。 <p>愛玩動物適正飼育啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発リーフレットの作成や、迷い犬の一時保護等を行った。 <p>狂犬病予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 狂犬病予防のための集合予防注射を実施した。 <p>犬猫等死体処理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 犬猫等動物死体処理を完全実施した。 <p>猫避妊手術費助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度で廃止 <p>磐田市聖苑施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 火葬施設は、収骨室の増築と定期改修を実施した。 <p>市営霊園施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 駒場霊園全763区画のうち219区画を整備し、貸出を開始した。 <p>市営霊園施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営8霊園の適切な維持管理と、法令に基づく事務処理を実施した。 			
(3) 指標の動き	河川愛護活動参加団体数	目標値 (H23) 220団体	実績値 212団体	→
	全市一斉環境美化活動への参加者数	目標値 (H23) 25,000人	実績値 23,542人	→
(4) 今後の課題	<p>重要度は高いものの市民満足度は平均値でとどまっております、指標も目標値を下回っていることから、成果の検証にもとづき、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。</p>			
	<p>河川・海岸美化活動への住民参加の促進 ごみの不法投棄抑止のための啓発活動の展開 火葬施設の継続的な改修と炉の大型化への対応 市営霊園の残り区画整備及び納骨堂の建設 新霊園候補地の選定 飼い主のいない猫対策の推進</p>			

1⑤循環型社会の推進		環境衛生課、環境施設課			
<p>循環型社会の推進に向けて、①リサイクル意識の啓発、②ごみの減量及びリサイクルできる環境の整備、③廃棄物の適正な処理の推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が極めて高くなっています。</p>					
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.35	満足度順位 (41施策中)	2位	
	重要度 (5点満点)	4.22	重要度順位 (41施策中)	4位	
(2) 主な事業と成果	<p>ごみ分別・減量・リサイクル意識啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民対象の出前講座、早朝集積所指導、ごみ探検隊を実施した。 ・市内スーパーマーケット等の事業者とのレジ袋有料化の協定を締結し、ごみ削減、省エネ、地球温暖化防止に寄与した。 <p>グリーン購入促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市グリーン購入に関する基本指針に基づき、率先して環境にやさしい物品を購入した。(達成率 83.8%前年比 10.6%増) <p>休日の資源ごみ集積所開設事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が運営するリサイクルステーションの休日開設を開始した。 <p>ごみ集積所設置費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会が行うごみ集積所の新設・改修にかかる経費を助成した。 <p>廃食用油再生利用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃食用油の回収業務を開始し、環境にやさしいバイオディーゼル燃料へ精製して公用車へ使用するシステムを確立した。 <p>古紙等資源集団回収奨励金交付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉団体と古紙業者と市の協定を締結し、古紙の拠点回収を開始した。 ・資源回収活動を行う団体を支援した。 <p>生ごみ処理機設置費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化容器の購入者に対して補助した。電気を使用する処理機については、平成 22 年度より補助対象から除外した。 <p>新ごみ処理施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度より、新ごみ焼却施設の供用を開始する。 <p>ごみ収集運搬事業(収集委託の民間委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年度より、ごみ収集業務の完全民間委託を実施した。 				
(3) 指標の動き	年間資源リサイクル率	目標値 (H23)	32%	実績値 23.6%	→
	一人一日当たりごみ排出量	目標値 (H23)	706 g	実績値 710 g	→
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに高くなっていますが、指標は目標値に達していないことから、成果の検証にもとづき、これまでの取り組みの方向性について検討していく必要があります。なお、大型事業が終了していること、廃止した事業があることを踏まえて、事業を発展させていく必要があります。</p> <p>ごみ減量とリサイクル意識の向上のための継続的な啓発活動の実施 リサイクル推進に取り組みやすい環境の整備 最終処分場の延命・建設等の検討 ごみ焼却施設の休日開場の実施</p>				

1⑥上下水道の整備（上水道）		水道課		
<p>上水道の整備について、①運営基盤の強化、②安心、安定的な給水、③災害対策の充実柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が極めて高くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.36	満足度順位 (41施策中)	1位
	重要度 (5点満点)	4.18	重要度順位 (41施策中)	6位
(2) 主な事業と成果	<p>上下水道事業計画策定事業 ・平成22年3月に水道事業基本計画を策定した。 (事業計画：平成21年度～平成37年度) 上下水道料金等賦課・徴収事務 ・平成22年4月より水道料金を改定し、市内の水道料金を統一した。 (改定率 平均9%) 上水道施設管理情報システム統合整備事業 ・磐田市の水道管に関する情報を集約することにより事務の効率化を図った。 上水道水質検査事業 ・定期的な水質検査を行い、水質保全・安定供給に努めた。 上水道施設整備事業 ・見付配水場の整備を行い、平成23年度より県水受水を開始した。 ・配水場の耐震診断を実施した。(H22 5箇所実施 診断率53%) 上水道老朽管更新事業 ・老朽管の更新に合わせて、耐震管の敷設を進めた。</p>			
(3) 指標の動き	営業収支比率	目標値 (H23) 118%	実績値 110%	
	苦情発生件数	目標値 (H23) 700件	実績値 630件	
	施設(管路)耐震化率 (75mm以上)	目標値 (H23) 30%	実績値 25%	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに高い状況ですが、指標が目標値に達していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みの手法について検討していく必要があります。また、震災の教訓から災害対策についてはゼロベースでの見直しが求められます。</p>			
	<p>費用の節減及び民間委託による業務の効率化 老朽管の更新による耐震管の敷設を推進し、災害への対策を図る。</p>			

1⑦上下水道の整備（下水道）		下水道課 環境施設課		
<p>下水道の整備について、①公共下水道の整備、②流域下水道の整備、③合併処理浄化槽設置の推進、④し尿処理施設の整備を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が極めて高くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.36	満足度順位 (41施策中)	1位
	重要度 (5点満点)	4.18	重要度順位 (41施策中)	6位
(2) 主な事業と成果	<p>公共下水道事業(磐南・豊岡処理区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道処理区域が確実に拡大している。H19 H23 432ha 拡大 天竜川左岸流域下水道施設建設事業費負担金 ・流域下水道処理場の設備投資が進んでいる。 H19 H23 水処理棟2池増設 <p>合併処理浄化槽設置費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併処理浄化槽の設置及び単独浄化槽からの転換補助を実施した。 (200基/年) H19 H23 773基設置 <p>磐田市衛生プラント施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・し尿処理施設については、計画的に修繕を行い、適正な運転管理に努めている。 			
(3) 指標の動き	汚水処理人口普及率	目標値 (H23) 81.4%	実績値 81.74%	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに高く、指標も目標値を達成していることから、今後も継続して取り組んでいく必要があります。しかし、震災の教訓から、水道とともに災害対策の視点に立った取り組みが求められます。</p>			
	<p>管渠の効率的な整備と処理区域内の接続率の向上 管渠や処理施設の計画的かつ適正な維持管理の実施と増大する費用への対応 処理場及び管渠等施設の防災対策 流域下水道事業の県からの円滑な移行（平成26年度末） 単独浄化槽から合併処理浄化槽への切替促進策の検討 し尿処理施設では、引き続き延命化のための維持改修と下水道処理施設との連携を検討していく必要がある。</p>			

住んで良かったと思えるまちづくり

市民生活の舞台となる安全・安心・快適な住空間や道路・公園など都市基盤の整備、誇りと愛着が持てる美しい街並みづくり、にぎわいのある中心市街地の整備、公共交通機関の利用促進、情報伝達網の充実などにより、住んで良かったと思えるまちづくりを目指します。

<前期計画期間の総括>

計画的な土地利用の推進では、合併して広がった市域を計画的かつ有効的に利用するため、土地計画マスタープランを策定し、都市計画の方針を定めました。

市街地の整備の推進では、遠州豊田 PA 周辺や磐田駅北の土地区画整理事業、磐田駅前地区市街地再開発支援事業が完了しました。このほかにも新貝、鎌田第一、豊岡駅前の各土地区画整理事業にも着手、進行してきました。また、磐田駅北口広場整備事業も本格的に着手する段階までできました。

道路網の整備では、事業費確保が困難な中、整備を進めてきました。また、生活道路や側溝の新設・改良についても、地元要望を受け、緊急性・必要性を考慮しながら進めてきました。まち美化パートナー(里親)制度による、自治会や事業者等自ら整備に取り組む活動も活発に進められており、環境整備に大きく貢献しています。

緑豊かなまちづくりでは、緑の基本計画を策定し、緑地保全や緑化推進の方針を定めました。

公共交通機関の利用促進では、自主運行バスの効率的な運営に向けて、路線、料金、運行日等の見直しを行うとともに、利用者のニーズに合わせたデマンド型(予約制)タクシーの導入を図りました。

地域情報化の推進では、メール配信システムがスタートし、必要な情報を必要としている市民に直接提供できるようになりました。また、光通信サービス網も広がってきており、新たに福田地区で利用可能となりました。



課題としては、厳しい財政状況の影響を受け、道路、公園、市営住宅等の整備が延ばされたこともあり、市民の満足度も低くなっていることから、実現可能な計画の見直しが必要となっています。また、磐田駅前広場の整備や各地で着工されている土地区画整理事業の完了、JR 新駅の設置に向けた事業着手を目指しています。




また、高齢化や地球温暖化防止のための二酸化炭素排出抑止を考慮したコンパクトなまちづくり、定住人口獲得に向けた若年層に焦点をあてた住みやすい都市機能の整ったまちづくり、さらには災害に強いまちづくりを視野に入れた計画の見直しと整備を進めていく必要があります。


■ 基本施策の進捗状況


2①計画的な土地利用の推進		都市計画課、農林水産課		
<p>計画的な土地利用の推進に向けて、①国土利用計画磐田市計画の策定、②都市計画マスタープランの策定、③都市計画調査の実施、④地籍調査の推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はやや低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.81	満足度順位 (41施策中)	32位
	重要度 (5点満点)	3.59	重要度順位 (41施策中)	28位
(2) 主な事業と成果	<p>国土利用計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土利用計画法に基づく国土利用計画磐田市計画を策定し、土地利用に関する行政上の諸計画等の指針となるべき基本的事項を定めた。(平成19年度完了) <p>都市計画マスタープラン策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランを策定し、地域別の整備方針や諸施設等の計画等都市計画の方針を定めた。(平成19年度完了) <p>磐田市地形図作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併後の全地形図(旧市町村一体型)の作成を行なった。(平成17年度完了) <p>都市計画調査事業(西遠都市圏総合都市交通体系調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が負担金を支出、県施行。(平成22年度完了) <p>地籍調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掛塚・見付地区への地籍調査を着手した。 			
(3) 指標の動き	土地利用に関する満足度	目標値 (H23) 40%	実績値 14.4%	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度が低くなっていることから、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。また、市民にわかりにくい施策・事業であることから、指標の設定が適切であるか見直す必要があります。</p> <p>拡大成長を前提としたまちづくりから、さまざまな都市機能がコンパクトに集積した都市構造の構築への転換 CO2削減等環境問題に配慮したまちづくりの推進 産業と居住環境がバランスよく機能的に配慮された土地利用とするための見直し</p>			

2②市街地整備の推進		都市整備課		
<p>市街地整備の推進に向けて、①磐田駅周辺整備の推進、②新市街地整備の計画的推進、を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価は低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.72	満足度順位 (41施策中)	39位
	重要度 (5点満点)	3.36	重要度順位 (41施策中)	37位
(2) 主な事業と 成果	<p>(進捗率は事業費ベース)</p> <p>磐田駅北土地区画整理事業 ・磐田駅北土地区画整理事業の建物補償が終了した。(進捗率 91.6%)</p> <p>磐田駅前地区市街地再開発支援事業 ・磐田駅前地区市街地再開発支援事業が完了し、再開発ビル2棟の供用が開始された。</p> <p>磐田駅北口広場整備事業 ・磐田駅北口広場整備事業に本格的に着手する(平成23年度予定)</p> <p>新貝土地区画整理支援事業 ・駅前街区の築造が完了した。(進捗率 68.1%)</p> <p>鎌田第一土地区画整理支援事業 ・鎌田第一土地区画整理組合が平成21年度に設立した。 (進捗率 0.5%)</p> <p>遠州豊田PA周辺土地区画整理支援事業 ・遠州豊田PA周辺土地区画整理事業が完了した。</p> <p>豊岡駅前土地区画整理支援事業 ・造成工事・補償が完了した。(進捗率 64.3%)</p> <p>JR新駅設置事業 ・JR新駅設置事業の調査設計に着手した。</p>			
(3) 指標の動き	磐田駅北土地区画整理事業進捗率	目標値 (H23) 100%	実績値 100%	→
	土地区画整理事業整備率	目標値 (H23) 20.8%	実績値 16.3%	↘
(4) 今後の課題	<p>市民満足度が低く、目標値を達成していない指標もあることから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。検討にあたっては、財政状況との整合を図ることが重要です。</p> <p>磐田駅北口広場整備事業の進行 新貝、豊岡駅前地区土地区画整理事業の保留地販売促進と早期完了 鎌田第一土地区画整理事業の仮換地指定と工事着手 JR新駅設置事業の早期着手</p>			



2③道路網の整備		道路河川課			
<p>道路網の整備に向けて、①道路交通網の計画的整備、②生活道路の整備、③協働による道路管理を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はほぼ平均となっています。</p>					
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.95	満足度順位 (41施策中)	27位	
	重要度 (5点満点)	3.65	重要度順位 (41施策中)	24位	
(2) 主な事業と成果	<p>東西軸・南北軸の道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の基軸となる優先路線をほぼ計画通りに整備している。 ・東名豊田パーキングエリア周辺道路の整備が完成した。 <p>道路側溝舗装新設改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急性・必要性のある路線を対象として地区を考慮した上で整備している。 <p>幹線道路舗装打ち換え事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急性・必要性のある路線を対象として地区を考慮した上で整備している。 <p>橋梁補修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助に採択され事業の進捗を図っている。 <p>まち美化パートナー推進事業（道路河川）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち美化パートナー制度の登録団体が順調に増え、道路の美化・清掃・簡易補修が実施されている。 				
(3) 指標の動き	幹線道路率	目標値 (H23)	57%	実績値 53%	
	まち美化パートナー制度（道路）合意件数	目標値 (H23)	40件	実績値 104件	
(4) 今後の課題	<p>重要度はやや高い反面、市民満足度が平均となっており、目標値を下回る指標もあることから、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。また、道路・橋梁の補修については、財政状況に基づいた計画的な事業実施が求められています。</p> <p>広域幹線である高木蛭池幹線及び天龍西貝塚幹線の早期完成 橋梁補修の推進 まち美化パートナーによる道路・河川・橋梁維持管理活動の支援</p>				

2④緑豊かなまちづくり		都市計画課		
<p>緑豊かなまちづくりに向けて、①緑地の保全及び緑化の推進、②身近な公園の整備、③中核公園の整備、④公園の維持管理の充実を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.03	満足度順位 (41施策中)	21位
	重要度 (5点満点)	3.64	重要度順位 (41施策中)	26位
(2) 主な事業と成果	<p>緑の基本計画策定事業 ・平成19年度に緑の基本計画を策定し、緑地の保全や緑化の推進を計画的に進めた。</p> <p>二子塚公園整備事業 ・平成19年度整備完了(公園面積1.0ha)</p> <p>開庭楼跡地公園整備事業 ・市民協働事業として公園整備を実施中。市民の作業ペースに市は歩調を合わせていくため完了時期を明確にできない。市民でできない部分を市が施工するやり方で進めている。</p> <p>磐田駅北1・2号公園整備事業 ・平成22年度整備完了(公園面積0.6ha)</p> <p>竜洋海洋公園整備事業 ・平成22年度に整備の休止を決定。整備計画を見直し中</p> <p>大池公園整備事業 ・平成22年度に整備の休止を決定。整備計画を見直し中</p> <p>まち美化パートナー推進事業(公園) ・まち美化パートナー登録団体が増え、効率的な公園の整備や維持管理が推進された。</p>			
(3) 指標の動き	公園・緑地に関する満足度	目標値 (H23) 55%	実績値 23.4%	
	一人当たりの都市公園面積	目標値 (H23) 6.62㎡	実績値 6.77㎡	
	まち美化パートナー制度(公園)合意件数	目標値 (H23) 8件	実績値 42件	
(4) 今後の課題	<p>重要度はやや高く市民満足度は平均であるが、指標は目標を上回っており、これまでの取り組みを継続していく必要があります。また、計画と現状に差が出ている部分の修正が求められます。</p>			
	<p>まち美化パートナー等市民による緑地保全・緑化推進活動の推進 中核公園整備計画の見直し 老朽化が進む公園設備の維持管理・改修策の検討</p>			

2⑤住生活の向上		建築住宅課、都市整備課、都市計画課		
<p>住生活の向上に向けて、①市営住宅の建て替え・改善、②都市型住宅の供給、③住環境整備の推進、④宅地開発の適正な指導、⑤建築誘導による居住環境の維持を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はやや低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.90	満足度順位 (41施策中)	30位
	重要度 (5点満点)	3.29	重要度順位 (41施策中)	39位
(2) 主な事業と成果	<p>市営大久保住宅建替事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期工事は完了し、 期工事について検討を重ねている。 <p>住宅マスタープラン策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市営住宅長寿命化計画を策定し、今後、市営住宅の長寿命化に取り組んでいく。 <p>磐田駅前地区市街地再開発支援事業【再掲(P19)】</p> <p>磐田駅北土地区画整理事業【再掲(P19)】</p> <p>新貝土地区画整理支援事業【再掲(P19)】</p> <p>開発許可関係事務(都市計画法第29条・指定大規模既存集落制度活用支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地利用計画に基づく民間の宅地開発行為や、市街化調整区域内の宅地造成の適切な指導に務めた。 <p>地区計画制度活用支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発事業者等から地区計画策定の要望を受けて法手続き等の支援を行なう事業。 <p>(前期期間中に活用支援事業が無かった。)</p> <p>建築協定制度の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間宅地開発や土地区画整理事業にあわせた地区計画や建築協定を奨励し、快適な居住環境の維持保全に務めた。 			
(3) 指標の動き	市営住宅の木造率	目標値 (H23) 10.3%	実績値 9.1%	
(4) 今後の課題	<p>指標は目標値を達成し、市民満足度も平均となっていますが、2②市街地整備の推進と重複する事業の整理及び、指標の設定について検討する必要があります。</p>			
	<p>市営住宅の長寿命化の取り組み及び民間賃貸住宅の活用の検討 子育て世代、高齢者世帯、低所得者世帯への住宅供給</p>			

2⑥美しい街並みづくり		都市計画課		
<p>美しい町並みづくりに向けて、①景観形成ガイドプラン策定の推進、②景観計画の策定、③景観形成モデル事業を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はやや低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.87	満足度順位 (41施策中)	31位
	重要度 (5点満点)	3.27	重要度順位 (41施策中)	40位
(2) 主な事業と 成果	<p>景観形成ガイドプラン策定事業 ・平成22年度に景観形成ガイドプランの策定を完了し、磐田らしいまちの顔づくりのための指針を示した。</p> <p>景観計画策定事業 ・見付地区が地元住民により検討中。他地区の動きは低調。</p> <p>景観形成モデル事業 ・モデル地区である見付地区の歴史的建造物等の保存修理への補助金支出・整備(土蔵6件・修景2件)を実施した。</p>			
(3) 指標の動き	景観づくりに関する満足度	目標値 (H23) 50%	実績値 15.8%	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度が低く、指標も目標値を下回っていることから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みとともに、指標の設定について見直していく必要があります。</p>			
	<p>景観の重要性に対する市民の意識高揚 まちの整備のルールとなる景観計画の策定</p>			

2⑦公共交通機関の利用促進		政策企画課、都市整備課		
公共交通機関の利用促進に向けて、①公共交通計画の推進、②交通拠点の整備、充実を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価は低くなっています。				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.72	満足度順位 (41 施策中)	38 位
	重要度 (5点満点)	3.46	重要度順位 (41 施策中)	32 位
(2) 主な事業と 成果	<p>自主運行バス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主運行バスの効率的運営のため、路線、料金、運行日等の見直しを図った。 <p>民間バス事業者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間バス事業者に対して、路線の維持やノンステップバスの導入に対する支援を行った。 <p>天竜浜名湖鉄道負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天竜浜名湖鉄道の運営を支援した。 <p>バス代替方策検討事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜洋地区においてデマンド型乗合タクシーの運行を開始した。 ・公共交通計画を策定し、地域の実情に応じた効果的で公平性・継続性の高い公共交通の確保に努めた。 <p>J R 新駅設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 新駅設置事業の調査設計に着手した。 <p>豊田町駅昇降機設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 豊田町駅に昇降機を設置した。 <p>磐田駅北口広場整備事業【再掲(P19)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磐田駅北口広場整備事業に着手した。(平成 23 年度予定) 			
(3) 指標の動き	一回当たりの乗車人員	目標値 (H23) 4.65 人	実績値 3.20 人	↘
	一人当たりのコスト	目標値 (H23) 1,278 円	実績値 2,056 円	↘
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに低く、また指標も目標を下回っていることから、これまでの取り組みを見直していく必要があります。</p>			
	<p>定時路線型の自主運行バスの抜本的見直し及び代替システムの導入検討 基幹バス路線の確保 市東部地区の交通拠点となる J R 新駅設置事業の早期着手</p>			

2⑧地域情報化の推進		情報システム課		
<p>地域情報化の推進に向けて、①安全・安心・快適な暮らしの支援、②情報提供手段の充実、③市民の情報通信知識の向上、④情報基盤の整備促進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.04	満足度順位 (41施策中)	17位
	重要度 (5点満点)	3.57	重要度順位 (41施策中)	30位
(2) 主な事業と成果	<p>メール配信システム運用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要とする情報を市民に直接提供するメール配信システムの運用を開始した。 <p>河川水位監視システム整備事業【再掲(P44)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川に水位計を増設し、水位情報をインターネットで提供する河川水位監視システムを導入した。 <p>パブリックコメント制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> パブリックコメント実施にかかる指針を設け、市民の声を反映できる仕組みの運用に努めた。 <p>市ホームページ運用・管理事業【再掲(P63)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市のホームページを刷新し、情報の充実と見やすさ、親しみやすさを追求した。 <p>いわたコミュニティバンクシステム構築・運用事業【再掲(P63)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存人材バンク制度の検証を実施したが、新制度の構築にはいたっていない。 <p>生涯学習講座等開催事業【再掲(P30)】(ICT関連講座の開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館講座や静岡産業大学連携事業においてパソコン講座を実施し、多くの参加者を得た。 <p>地域情報化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 福田地区に光通信サービス網が拡大され、サービスが利用可能となった。 <p>コンピュータ教育推進事業(小中学校)【再掲(P27)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校におけるコンピュータ教育のためのパソコン等を整備した。 			
(3) 指標の動き	メール配信システム利用者登録数	目標値 (H23) 20,000件	実績値 28,297件	
	ホームページアクセス件数	目標値 (H23) 160万件	実績値 330万件	
(4) 今後の課題	<p>指標は目標値を達成、市民満足度は平均ですが、重要度は情報化技術の進展とともに相対的に低くなっています。今後、求められる取り組みを選定し、社会の要請にこたえていく必要があります。</p> <p>自治体ホームページの枠にとらわれない新しい情報媒体を活用した情報発信 光通信サービス網の地域間格差の是正にむけた取り組み(大藤局・豊岡局管内) 学校教育現場での児童・生徒に対する情報化社会に対する教育の徹底</p>			

豊かな心を育み活躍できるまちづくり

「まちづくりは人づくりから」を基本に、次代を担う心身ともに健やかに創造力豊かな子どもを育むとともに、多様な学習機会の提供、歴史遺産・文化の継承、文化・スポーツの振興、国際交流、男女共同参画や地域社会に貢献する人材の育成などにより、豊かな心を育み市民みんなが活躍できるまちづくりを目指します。

<前期計画期間の総括>

学校教育分野における、こどもの教育の充実では、魅力ある学校づくりや指導体制の充実に向けた教員の資質向上等を進めるとともに、校舎等施設の整備では、耐震化をすすめ、全施設において国基準の耐震化が完了しました。また、校庭の芝生化事業も 18 校で完了しました。

健全な青少年の育成では、青少年健全育成会連合会及び各支部が地域性を生かしつつ全市的活動が展開されました。

市民の学習機会の充実では、多種多様な学習意欲に応えるため、市各課、公民館、大学、市民活動団体等からさまざまな学習プログラムを提供し、市民の満足度が高くなっています。施設の整備では、豊岡東公民館の整備を始め、既存公民館 3 館の耐震化工事を実施しました。

文化の振興では、平成 19 年度に文化芸術振興計画を策定し、事業推進の方針を定めました。そのような状況の中、静岡県国民文化祭の 3 公演が本市を会場に開催され、市内外から多くの観客が訪れ、本物の芸術文化に触れる機会を提供しました。

歴史遺産の整備・活用では、遠江国分寺跡地をはじめとした遺跡の整備事業を進めるとともに、その研究成果を公表し、文化財愛護の啓発に努めました。

スポーツの振興では、ジュビロ磐田のホームタウンという地の利を生かし、スポーツを通じてのまちづくりを推進することで、市民の理解を深めてきました。全国的にもスポーツのまち磐田の知名度が上昇しつつあります。全国高等学校女子サッカー大会は本市を会場に毎年開催され、参加チームや関係者から好評を得ています。



多文化共生と国際交流の推進では、本市に暮らす外国人も市民として活躍できるよう体制整備に努め、市役所での相談窓口の設置や情報提供、地域における交流活動が進められてきました。



課題として、子どもの教育や青少年の育成については、地域のつながりの希薄化や、家庭での教育力低下が問題とされていて、地域ぐるみで子どもや青少年を見守る社会風土の醸成を図るとともに、地域での人材の発掘・育成の必要性が叫ばれていることから、これまでの取組を見直していく必要があります。

学校等や社会教育施設の耐震化については、より安全な静岡県基準を満たしたものとするための整備をさらに進めていく必要があります。



■ 基本施策の進捗状況

3 ①子どもの教育の充実		学校教育課、教育総務課		
<p>子どもの教育の充実に向けて、①魅力ある学校づくりの支援、②教育体制の充実、③学校施設の整備を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がやや高くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.13	満足度順位 (41施策中)	9位
	重要度 (5点満点)	4.07	重要度順位 (41施策中)	12位
(2) 主な事業と 成果	<p>自慢づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の自慢づくりは学校運営の中に根付き、魅力のある学校づくりに効果をあげている。 <p>学校協議会運営事業(小中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校協議会が開催され、地域住民の参画が得られ、地域に開かれた学校づくりが推進されている。 <p>就学前サービス振興計画推進事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磐田市幼児教育振興計画を策定し、養護と教育が一体となって「現在を最もよく生き、将来への生きる力の基礎を培う」ことを目標に事業展開を図っている。 <p>コンピュータ教育推進事業(小中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校にコンピュータ教材の配置が完了し、情報化社会に対応した教育が実践されている。 <p>市負担教員(ふるさと先生)配置事業(小中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと礎プランの推進により、授業力や学級経営力の向上を図った。 <p>市負担補助員(運営困難学級補助員)配置事業(小中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営困難学級補助員を配置し、特別に支援を要する子どもの支援体制を充実させた。 <p>教職員資質向上支援事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修主任研修会や教科・領域等指導員研修会等を実施し、教員の授業力向上を図るとともに、小中一貫教育について研究を深めることができた。 <p>いじめや不登校等に対応する教育相談体制推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員や相談員を対象とした研修会を実施し、不安や悩みを抱える児童生徒へのよりよい対応のあり方について、研修を深めることができた。 <p>特別支援教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター、支援員及び通常学級担任を対象にした研修会を計画通り実施し、個に応じたきめ細かな支援のあり方などについて研修を深めることができた。 <p>外国人児童生徒適応事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒が早く学校に適応できるよう、就学前適応教室を設置し、教育を実施した。 			

3 ①子どもの教育の充実		学校教育課、教育総務課			
	施設整備事業(幼稚園・小中学校) ・園舎・校舎の全施設は、国の基準による耐震化を実現した。 施設地震対策事業(幼稚園・小中学校) ・全 56 施設のうち、45 施設の地震対策が完了した。 学校給食センター施設整備事業 ・効率的な学校給食の提供を図るため、大原学校給食センターでの給食提供を開始した。 校庭芝生化事業 ・市内小・中学校 18 校で校庭の芝生化が完了した。				
(3) 指標の動き	学校に対する満足度	目標値 (H23)	85%	実績値 88.5%	
	学校(園)の耐震化率	目標値 (H23)	86%	実績値 91.2%	
(4) 今後の課題	市民満足度、重要度ともに高く、指標も目標値を達成しており、現在の水準を維持するために、今後も着実に取り組む必要があります。なお、震災の教訓を踏まえ、子どもの安全を守る施策が必要です。				
	義務教育 9 年間を見通した一貫性ある指導の確立 家庭・地域との絆を強め、地域全体で子どもを育てる社会風土の醸成 新学習指導要領に対応した教育体制整備と教員の資質向上 単独調理場の集約・給食センター化の検討 学校施設の県基準による耐震化の早期達成 学校施設の建替え及び統廃合の検討				

3 ②健全な青少年育成		生涯学習課、教育総務課		
<p>健全な青少年育成に向けて、①家庭教育の充実、②青少年の健全育成、③少年補導の充実、④青少年活動の支援・指導を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.93	満足度順位 (41施策中)	28位
	重要度 (5点満点)	3.86	重要度順位 (41施策中)	18位
(2) 主な事業と成果	<p>家庭教育推進事業(講座、講演会等の開催) ・子どもの発達段階に応じた講座や講演会、家庭教育学級等を実施した。</p> <p>青少年健全育成事業(青少年健全育成活動の支援) ・青少年健全育成会連合会及び各支部が地域性を活かした活動が展開された。</p> <p>少年補導センター運営事業 ・少年補導センターが中心となり、学校や警察等、関係団体と連携を図りながら補導活動を実施した。</p> <p>青少年活動推進事業 ・青少年活動団体、社会教育団体への活動支援や、放課後子ども教室の運営により、子どもたちの体験・交流活動の場が充実した。</p> <p>社会教育団体支援事業【再掲(P30)】 放課後子ども教室推進事業 ・地域の方の参画を得て、放課後の子どもたちの活動場所、環境づくりを実施。(市内6か所・332人参加。)</p>			
(3) 指標の動き	補導される青少年数	目標値 (H23) 100人	実績値 125人	
	講座・講演会の受講者数	目標値 (H23) 3,100人	実績値 3,706人	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに平均となっていますが、指標が目標値に達成していないものもあり、これまでの取り組みの手法を見直していく必要があります。</p> <p>家庭教育に関心が薄い保護者への家庭教育講座への参加促進及び企業や学校との連携による啓発の拡大 青少年健全育成連合会各支部の類似事業統合による効果的な事業実施 地域のつながりが希薄化する中での子どもの交流活動の推進</p>			

3 ③学習機会の充実		生涯学習課		
<p>学習機会の充実に向けて、①学習活動の充実、②学習の場の活性化、③学習基盤の整備、④人権教育の推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はやや高くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.17	満足度順位 (41施策中)	5位
	重要度 (5点満点)	3.60	重要度順位 (41施策中)	27位
(2) 主な事業と 成果	<p>生涯学習情報提供・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報誌「学びの庭」発行やホームページ・メール配信サービスを活用しての学習機会の情報提供を実施した。 <p>生涯学習講座等開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大綱・振興計画に基づき、毎年度進行管理を行い、事業を推進した。 <p>社会教育指導者育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を通じて、生涯学習ボランティアや指導者の育成に努めた。 <p>生涯学習出前講座開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H22年度では、単年度目標値を上回る311件の講座を開催した。 <p>公民館講座等開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課主催の各種講習会・講演会・講座、公民館主催講座、各種団体の学習機会に市職員が出向いて講師を務める生涯学習出前講座等、多種多様なニーズにこたえる学習プログラムの提供に努めた。 <p>親子読書推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「磐田市子ども読書推進計画」に沿って、ブックスタート事業や茶の間ひととき読書運動、おはなし会、子ども向け講座・行事、読書講演会、読み聞かせボランティア養成講座等を実施し、更に児童図書資料や中高生向きヤングアダルトコーナーの充実を図り、読書環境の整備、読書機会の提供、読書の啓発に努めた。 <p>家庭教育力向上事業【再掲(P29)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の家庭教育学級やライフステージに応じた講座開設等により推進した。 <p>静岡産業大学連携推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参与会、幹事会において情報交換を行うとともに、大学でのパソコン講座の開催や図書館・体育館・グラウンドの一般開放が推進された。 <p>豊岡総合センター施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設の改修に努めた。 <p>施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南御厨公民館調理室増設工事・豊岡東公民館建設工事・長野公民館グラウンド整備工事 <p>施設地震対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習施設の整備・耐震化事業では、安全対策を優先して整備を進めるとともに、3館の耐震化工事を実施した。 <p>社会教育団体支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会育成者連合会等が行う事業を通して、子どもや家庭の健全な育成に努めた。 			

3 ③学習機会の充実		生涯学習課		
	<p>図書資料整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料整備事業では、子ども読書活動や市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、児童・一般図書、参考図書、逐次刊行物、視聴覚資料、地域資料等を収集・整理・保存・公開し、市民の学習機会の提供・充実に努めた。 <p>人権教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育講演会や中学生を対象とした人権ビデオフォーラムを定期的に開催した。 <p>男女共同参画推進事業【再掲(P36)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターを中心とした事業を展開し、啓発に努めた。 			
(3) 指標の動き	公民館講座受講者数	目標値 (H23) 80,000 人	実績値 15,762 人	
	生涯学習の充実に関する満足度	目標値 (H23) 60%	実績値 26.6%	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに高くなっていますが、指標は目標値を達成していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みの手法について見直していく必要があります。また、指標の設定については、十分に検討する必要があります。</p> <p>学習の成果が個人にとどまらず地域社会に還元されるような事業の検討</p> <p>各事業の本来の目的に沿った内容となるよう講座の整理・見直し</p> <p>豊岡総合センター整備の検討</p> <p>公民館の耐震化工事の計画的実施</p> <p>共生社会の視点にたった総合的な人権教育の推進と正しい問題理解の啓発</p> <p>電子図書館サービスへの取り組みへの検討（電子書籍の提供・地域資料の電子化）</p>			




3 ④文化の振興と歴史遺産の整備、活用（文化振興）			文化振興課	
<p>文化の振興に向けて、①芸術鑑賞の場の提供、②文化芸術活動の育成と支援、③文化環境の整備を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.06	満足度順位 (41施策中)	16位
	重要度 (5点満点)	3.36	重要度順位 (41施策中)	38位
(2) 主な事業と成果	<p>文化芸術鑑賞・体験事業 ・音楽や能等の本物を鑑賞する機会を提供した。 青少年文化芸術活動育成支援事業 ・こどもミュージカルや器楽指導者派遣事業では、次代を担う子どもたちに専門家の指導による育成を行った。 文化芸術活動支援事業 ・各地域の特性を生かした事業を実施するとともに運営補助を行った。 国民文化祭推進事業 ・国民文化祭として3種目の公演を行い、17,759名の入場者を集めるなど成功を収めた。 文化振興計画策定事業 ・平成19年度に文化芸術振興計画を策定し、事業の方向性を示した。 文化施設管理事業 ・利用者が快適に利用できるよう管理運営を行った。</p>			
(3) 指標の動き	自主事業入場者数	目標値 (H23) 12,000人	実績値 17,228人	↗
	直接鑑賞する人の割合	目標値 (H23) 75%	実績値	
	磐田の文化が豊かと考える人の割合	目標値 (H23) 45%	実績値	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度・重要度ともに平均ですが、施策の中での重要度は低くなっており、成果の検証に基づき、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。また、指標の設定については、十分に検討する必要があります。</p>			
	<p>芸術鑑賞と併せた演奏や演技を体験できるワークショップ等の開催 各種文化芸術団体等と連携した人材育成の拡充</p>			

5年毎の文化芸術振興計画策定時に行う、調査をもとに指標設定されており、次回は平成24年度に実施予定。

3 ④文化の振興と歴史遺産の整備、活用（歴史遺産）			文化財課	
<p>歴史遺産の整備、活用に向けて、①文化財の保全・整備・活用、②歴史文化・歴史的文書の保存・整理・活用を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.06	満足度順位 (41施策中)	16位
	重要度 (5点満点)	3.36	重要度順位 (41施策中)	38位
(2) 主な事業と成果	<p>遠江国分寺跡整備事業 ・整備資料収集のための発掘調査を実施し、見学会の開催や新知見の公開を行った。</p> <p>遠江国分寺資料館施設整備事業 ・建設計画については、見直しを行い、整備事業の中での位置づけを行うようにした。</p> <p>史跡整備事業 ・旧赤松家の整備事業が完了する。史跡の除草や案内板の修繕に努めた。</p> <p>文化財愛護啓発事業 ・出前講座や説明会での説明や冊子やパンフレット、情報誌を発行し、歴史のおもしろさや歴史遺産の大切さを啓発した。</p> <p>旧町史編さん事業(福田・竜洋) ・竜洋町史編さん事業は完了。福田町史は、専門委員や協力員を任命し、編纂事業を進めた。</p> <p>歴史文書館施設管理事業 ・歴史的文書の収集や地域資料の収集・保管・公開に努めた。</p>			
(3) 指標の動き	史跡の整備数	目標値 (H23) 9箇所	実績値 7箇所	↘
	町史(福田・竜洋)の 刊行数	目標値 (H23) 9巻	実績値 9巻	→
(4) 今後の課題	<p>重要度は高く市民満足度は平均であります、指標も目標値を達成していないものもあることから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。</p> <p>遠江国分寺跡整備事業の見通し 公有地化した史跡の活用方法の検討 福田町史の編纂完了 公文書管理法への対応</p>			

3 ⑤スポーツの振興		スポーツ振興課			
<p>スポーツの振興に向けて、①スポーツ文化の創造、②生涯スポーツの振興、③スポーツ施設の整備・充実を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がやや高くなっています。</p>					
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.14	満足度順位 (41施策中)	8位	
	重要度 (5点満点)	3.52	重要度順位 (41施策中)	31位	
(2) 主な事業と成果	<p>ジュピロ磐田ホームタウン推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュピロメモリアルマラソン等をはじめとする、ジュピロ磐田との連携事業を実施した。 <p>スポーツ交流プラザ・市民ギャラリー施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ交流プラザでのパブリックビューイングが定着するとともに、スポーツギャラリーでの展示内容を充実させた。 <p>全日本高等学校女子サッカー選手権大会開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日本高等学校女子サッカー選手権大会が毎年開催され、関係者から好評を得ている。 <p>スポーツボランティア育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種大会へのスポーツボランティア従事が定着した。 <p>市民スポーツ活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市ウォーキング大会が市内全域を会場として開催されている。 ・体育指導委員会が企画する生涯スポーツ教室や親子体育教室が開催され、機会・参加者が増加している。 ・小学生のラグビーが活発化した。 <p>総合型地域スポーツクラブ育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブが2団体設立された。 <p>社会体育施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度導入により、スポーツ施設の効率的な管理とサービスの向上が図られた。 <p>校庭芝生化事業【再掲(P28)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭の芝生化が18校において実施された。(再掲) 				
(3) 指標の動き	スポーツライフが実践できる施設の利用回数	目標値 (H23) 9.0回	実績値 (H21) 9.3回	↗	
	総合型地域スポーツクラブの団体数	目標値 (H23) 3団体	実績値 2団体	↘	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度は高くなっていますが、指標が目標値を達成していないものもあることから、評価の検証に基づき、これまでの取り組みの手法について見直していく必要があります。また、新たな課題に対応した指標の設定について、十分に検討する必要があります。</p> <p>スポーツ産業の振興 スポーツ施設の適正配置 スポーツ施設の老朽化対策</p>				

3 ⑥多文化共生と国際交流の推進		共生社会推進課		
<p>多文化共生と国際交流の推進に向けて、①外国人市民への自立支援、②多文化共生意識の啓発、③国際理解・国際交流の推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がやや低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.95	満足度順位 (41施策中)	26位
	重要度 (5点満点)	3.44	重要度順位 (41施策中)	33位
(2) 主な事業と成果	<p>外国人相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人情報窓口を設置し、情報提供や生活相談を充実させた。 <p>多文化交流センター運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会主催の日本語教室や、多文化交流センターでの交流会や支援事業を通して、さまざまな分野に対応した支援を行っている。 <p>多文化共生推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ポルトガル語版広報の発行や防災広報にポルトガル語放送を追加し、外国人への情報提供に努めた。 自治会において、外国人を地域で暮らすパートナーとして受け入れる体制づくりが進められた。 不就学児童への対応や日本語教室の開催等、自治会、企業、国際交流団体等と連携する中で実施した。 <p>国際交流団体等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会と連携した多文化共生への理解啓発事業を実施した。 			
(3) 指標の動き	多文化交流センターの利用者数	目標値 (H23) 8,500人	実績値 9,140人	
	在住外国人との共生に関する満足度	目標値 (H23) 50%	実績値 15.3%	
	国際交流の推進に関する満足度	目標値 (H23) 65%		
(4) 今後の課題	<p>市民満足度は平均ですが、指標も目標値を達成していないものがあることから、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。また、指標の設定について、十分に検討する必要があります。</p> <p>外国人市民が一市民として活躍できるよう、市民・外国人双方の理解促進と制度の構築の検討 外国人市民の自立を一層支援する事業の展開 企業・大学等との連携した事業展開の強化 外国人コミュニティにおけるリーダーの把握・育成</p>			

3 ⑦男女共同参画の推進		共生社会推進課		
<p>男女共同参画の推進に向けて、①男女共同参画背景の総合的推進、②協働による推進体制づくりを柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.79	満足度順位 (41施策中)	34位
	重要度 (5点満点)	3.21	重要度順位 (41施策中)	41位
(2) 主な事業と 成果	<p>男女共同参画推進事業 ・男女共同参画プランの進捗率が92.8%となっている。 男女共同参画センター運営事業 ・男女共同参画センターが主体となって、各種学習会や教室、交流会が開催された。</p>			
(3) 指標の動き	審議会等への女性 参画率	目標値 (H23) 30%	実績値 25.3%	
	男女共同参画啓発 イベント参加者数	目標値 (H23) 2,000人	実績値 2,313人	
	男女共同参画社会 の推進に関する満 足度	目標値 (H23) 60%	実績値 12.0%	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度・重要度ともに低くなっており、指標も目標値を達成していないことから、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。</p>			
	<p>市民、企業等への啓発の推進 市民等の認識度の向上 男女共同参画プランの指標の目標値達成</p>			

誰もが安全で安心して暮らせるように、建築物等の耐震化の促進、地域の防災・防犯体制の強化、交通安全対策や治山治水対策、消防・救急体制の充実などにより、市民の生命と財産を守り、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指します。

＜前期計画期間の総括＞

地域防災対策・体制の強化では、地域防災計画に基づく備えを着実に進めてきました。各自主防災組織の支援を通して、組織の強化、資機材等の充実、意識啓発を図るとともに、全市一斉の防災訓練や避難所運営訓練を実施し、地域の防災力向上を推進しました。また、小・中学校、幼稚園及び公民館等の公共施設の耐震補強を進め、84.9%まで耐震化が進みました。

地域防犯体制の強化では、自治会や各種団体が主体的に取り組み、概ね小学校区域内で自主防犯活動を実施する地区安全会議が24地区で設立されました。さらに、青色等を装備したパトロール車も磐田警察署管内で269台が登録され、活動が活発に行われ、市民の満足度は上昇しています。

交通安全対策の充実では、自治会等の要望によりカーブミラー等の交通安全施設の設置や危険箇所の改修を実施しました。また、交通安全連絡協議会や警察等関係団体と連携を図り、交通安全キャンペーンや交通安全教室を実施し、交通安全意識の高揚やルール遵守、マナーの向上に努めました。

消防・救急体制の充実では、広域消防指令施設の検討が進み、平成24年度から中東遠地域における消防通信指令を実施する見込みとなりました。救急救命士の資格保有者が目標数の32人を満たすとともに、高度な処置が行える資機材を搭載した高規格救急車の整備も5隊で完了しました。

治山・治水対策の充実では、総合内水緊急対策事業として、今之浦川の浚渫・拡幅や排水施設の整備を進めるとともに、雨水配水対策施設整備として校庭貯留施設、大池調整池、安久路調整池の整備が完了しました。また、河川の水位監視システムの整備により水位情報をインターネットにより情報提供できるようになりました。

そのような中、3月に発生した東日本大震災により、地域防災組織や消防組織等、これまでの防災体制の抜本的な見直しが迫られています。今後は、次期被害想定に基づき、防災計画の総点検を行う必要があります。




地域防犯については、全市域での地区安全会議の早期設立及び活動を展開する必要があります。



治水・治山については、早期に事業を完了させるとともに、国や県、各種団体と連携し、人工林整備や広葉樹林の再生による治水対策など長期的な取り組みも進めていくことが求められています。

■ 基本施策の進捗状況

4 ①地域防災対策・体制の強化		防災交通課			
<p>地域防災対策・体制の強化に向けて、①地域防災計画の推進、②地域防災力の向上、③防災施設等の整備、④公共建築物の耐震化の推進、⑤民間建築物等の耐震化の促進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が高くなっています。</p>					
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.15	満足度順位 (41施策中)	7位	
	重要度 (5点満点)	4.25	重要度順位 (41施策中)	3位	
(2) 主な事業と成果	<p>地域防災計画等策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災計画に基づいた各種対策を充実させ、各種団体との協定を締結している。 <p>自主防災組織支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の活動支援、防災訓練の実施、自主防災資機材の整備により、自主防災力の強化に努めるとともに、防災講座や図上訓練を実施し防災意識の高揚に努めた。 <p>防災資機材整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災情報システムや地域防災無線の整備を行い、災害時の情報の集約・共有が可能となった。 <p>防災備蓄倉庫整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災備蓄倉庫整備事業では、被害想定に基づき必要となる備蓄が整っている。 <p>防災無線整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災無線 542 局の免許更新及び維持管理を行うと共に、同報無線の統合に向けた調査を実施した。 <p>公共建築物の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校、幼稚園及び公民館を中心に耐震補強工事が進み、実施率は 84.9%となった。 <p>建築物等耐震改修促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間建築物の耐震化については、建築物等耐震改修促進事業による補助制度を実施するとともに、広報等を活用した耐震化の必要性を啓発した。 				
(3) 指標の動き	地域防災体制に関する満足度	目標値 (H23)	54%	実績値 29.0%	
	公共建築物の耐震化率	目標値 (H23)	85%	実績値 84.9%	
	住宅の耐震化率	目標値 (H23)	80%	実績値 80.0%	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに高くなっていますが、指標が目標値を達成していないものがあるため、施策の手法について見直していく必要があります。さらには、東日本大震災の教訓を踏まえ、これまでの成果をさらに高める事業のあり方と新たな指標について検討する必要があります。</p>				



4 ①地域防災対策・体制の強化	防災交通課
	<p>次期被害想定に基づく地域防災計画の見直しと体制・事業の再構築 同報無線の整備と避難所資機材の充実</p>



4②地域防犯体制の強化		自治振興課			
<p>地域防犯体制の強化に向けて、①地域防犯活動の推進、②防犯情報の共有を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がほぼ平均となっています。</p>					
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.09	満足度順位 (41施策中)	12位	
	重要度 (5点満点)	4.19	重要度順位 (41施策中)	5位	
(2) 主な事業と 成果	<p>地域防犯活動団体支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね小学校区を区域として地域内の防犯活動を推進する地区安全会議が24地区で設立され、それぞれ自主的な活動が進行している。 「防犯まちづくり条例」を制定し、市全体で防犯活動に取り組む指針を明確にした。 青色灯を装備した防犯パトロール車による活動を支援し、これまで磐田警察署管内で269台が登録している。 <p>防犯灯設置費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会が設置する防犯灯の事業費を毎年約200～300件支援した。 <p>メール配信システム運用事業【再掲】(不審者情報等の提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> 不審者情報等の防犯情報メール配信システムの運用を開始し、市民に注意喚起をすばやく行えるようになった。 不審者情報を地区安全会議や自治会の防犯委員に提供する仕組みが構築され、各地区の活動の支援につながっている。 				
(3) 指標の動き	犯罪発生件数	目標値 (H23)	1950件	実績値 1485件	
	不審者事案件数	目標値 (H23)	30件 以下	実績値 28件	
	地域防犯組織設立数	目標値 (H23)	20件	実績値 24件	
(4) 今後の課題	<p>重要度は高く指標も目標値を達成しているものの、市民満足度は平均となっており、これまでの成果をさらに高めるため、今後とも着実に取り組む必要があります。</p>				
	<p>地区安全会議の全市域への設立推進 防犯まちづくり条例に基づく制度の周知と全市的な取り組み推進</p>				

4③交通安全対策の充実		防災交通課		
<p>交通安全対策の充実に向けて、①交通安全施設の整備、②交通安全意識の高揚を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がやや高くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.12	満足度順位 (41施策中)	10位
	重要度 (5点満点)	4.10	重要度順位 (41施策中)	7位
(2) 主な事業と 成果	<p>交通安全施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会等からの要望を基に、カーブミラーや標識等の交通安全施設を162件整備した。 交通安全推進地区を指定において、巡回点検を実施し必要な交通安全対策を30箇所実施した。 危険箇所、事故多発箇所の事故防止対策を103箇所実施した。 <p>交通安全啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全連絡協議会や警察等関係団体と連携を図り、交通安全運動街頭キャンペーンや各年代別に交通安全講習会を実施し、交通安全意識の高揚、交通ルール遵守、マナー向上の啓発に努めた。 			
(3) 指標の動き	人身交通事故件数	目標値 (H23) 1750件	実績値 1699件	
	交通事故死者数	目標値 (H23) 10人以下	実績値 8人	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに高く、指標も目標値を達成していることから、現在の水準を維持しつつ、継続して着実に取り組む必要があります。</p>			
	<p>危険箇所、事故多発箇所の事故防止対策の実施 交通安全意識、交通ルールの遵守、マナー向上にむけた啓発活動の一層の拡充</p>			

4 ④消防・救急体制の充実		消防総務課、警防課、予防課			
<p>消防・救急体制の充実に向けて、①消防広域化の推進、②消防施設等の整備、③人材の育成、④予防行政の充実を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が高くなっています。</p>					
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.31	満足度順位 (41施策中)	3位	
	重要度 (5点満点)	4.08	重要度順位 (41施策中)	11位	
(2) 主な事業と成果	<p>広域消防運営計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意協議会の設置には至っていない。 <p>広域消防指令施設等検討事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中東遠地域における消防通信指令を平成24年度から実施する見込みとなった。 <p>常備消防庁舎施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化等によって不備が発生した箇所の改修を実施している。 <p>消防団活動拠点施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の著しい拠点施設5か所のうち、1か所の建替えが完了した。 <p>消防車両整備事業(常備・非常備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急隊6隊のうち5隊が、救急救命士による高度な処置が行える資機材を積載した高規格救急車となった。 <p>消防水利施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防水利充足率の目標値を達成した。引き続き、自治会要望等を踏まえた整備を推進する。 <p>消防団活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の確保を図るため、「消防団協力事業所表示制度」を導入するなど活動環境の改善を実施している。 <p>消防職員研修事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士資格保有者が目標数を達成した。予防技術資格者が基準数を充足した。 <p>予防査察・防火診断事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火対象物、危険物許可施設における予防査察や独居老人・高齢者世帯への防火診断を年間計画通り実施している。 <p>住宅用火災警報器設置促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用火災警報器の設置は、平成21年6月から義務化され、新築家屋を中心に普及が進んでいる。 <p>普通救命講習受講促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習は、消防庁舎での月例講習会、消防団活動の一環としての講習会、企業・団体等からの要請による講習会等で実施している。 				
(3) 指標の動き	消防水利充足率	目標値 (H23)	67%	実績値 69%	↗
	救急救命士数	目標値 (H23)	32人	実績値 34人	↗
	普通救命講習受講者数	目標値 (H23)	6500人	実績値 6800人	↗

4 ④消防・救急体制の充実	消防総務課、警防課、予防課
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに高く、指標も目標値を達成していることから、現在の水準を維持しつつ、継続して着実に取り組む必要がありますが、東日本大震災の教訓を踏まえ、これまでの成果をさらに高めるために事業のあり方を改めて検討する必要があります。</p>
	<p>大震災を教訓とした地域防災計画の見直しを踏まえ消防広域化を推進 常備消防施設や消防団活動拠点等の効率的・効果的な整備 各業務の高度化に対応した職員の計画的な育成</p>

4 ⑤治山・治水対策の充実		道路河川課、農林水産課		
<p>治山・治水対策の充実に向けて、①治水関連施設の整備、②市民への情報提供、③蘇民の意識の向上、④森林機能の保全を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がやや高くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.10	満足度順位 (41施策中)	11位
	重要度 (5点満点)	3.88	重要度順位 (41施策中)	17位
(2) 主な事業と成果	<p>久保川治水プロジェクト事業(総合内水緊急対策事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今之浦川の浚渫・拡幅等の改修事業が予定どおり進捗している。 <p>雨水排水対策施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭貯留施設5ヶ所中2箇所、大池調整池22万トン、安久路調整池7万トンを整備した。 <p>河川水位監視システム整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川水位監視システムを整備し、インターネットによる情報提供を開始した。 <p>雨水流出抑制貯留施設設置費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留施設設置費補助が予定を上回る件数実施し、雨水貯留に対する意識の高揚が図られた。 <p>治山事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備計画を策定し、森林機能保全を図るための体制の強化に努めた。 <p>松くい虫防除事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松食い虫駆除作業が、地元住民やボランティアとの協働により毎年実施している。 			
(3) 指標の動き	浸水被害家屋件数	目標値 (H23) 42件	実績値 0件	
	雨水貯留量	目標値 (H23) 35.7万t	実績値 35.7万t	
(4) 今後の課題	<p>現在の水準を継続維持するため今後とも着実に取り組む必要がありますが、防災の観点から、進行中のものを含め総合的に事業を見直す必要があります。</p> <p>久保川治水プロジェクト事業の早期完了 都市下水路やポンプ場の長寿命化・更新の検討 森林の機能保全のための人工林の整備、広葉樹林の再生 森林の重要性を発信するトレッキングコースの整備</p>			

4 ⑥消費生活対策の充実		商工観光課		
消費生活対策の充実に向けて、①消費生活センターの充実、②消費者団体活動の推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はほぼ平均となっています。				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.06	満足度順位 (41施策中)	15位
	重要度 (5点満点)	3.65	重要度順位 (41施策中)	25位
(2) 主な事業と 成果	<p>消費生活相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「弁護士出張相談」の実施や相談員の資質向上を図り、相談体制の充実を図った。 <p>消費者啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 被害に遭いやすい高齢者を対象とした出前講座を自治会、敬老会等の場を借りて実施した。 「消費者のつどい」を開催し、市民への啓発活動を実施した。 消費者協会が中心となって「マイバック運動」や「地産地消活動」に取り組み、市民の理解が進んだ。 			
(3) 指標の動き	消費生活関係の出前講座への参加者数	目標値 (H23) 960人	実績値 809人	
	消費者団体会員数	目標値 (H23) 110人	実績値 55人	
(4) 今後の課題	重要度はやや高いものの市民満足度は平均で、指標も目標値を下回っていることから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みを見直していく必要があります。			
	相談件数の増加や内容の複雑化・高度化に対応した相談体制等の充実・拡大			

やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり

誰もがその人らしく安心して生活が送れるように、多様化した生活様式や市民ニーズに対応した子育て支援、福祉サービス、健康づくりや医療体制の充実を図るとともに、市民と行政が協働し、やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくりを目指します。

<前期計画期間の総括>

まず、総合健康福祉会館が平成 20 年度に完成し、総合的に福祉を推進する拠点が整備されました。

地域福祉システムの充実では、市内 13 地区において地区社会福祉協議会が設立され、地域独自の地域福祉活動が展開されるようになりました。

子育て環境の整備では、子育て支援センターの拡大、子育て相談員の派遣、ファミリーサポートセンターの運営を実施し、子育て世代の支援をしました。また、公立保育園の統合民営化や私立保育園の増築により、定員数の増加を図りました。

高齢者福祉の推進では、地域包括支援センターを市内 6 箇所を設置し、高齢者の相談窓口、介護予防の拠点として地域のネットワークづくりを進めました。



障害者福祉の推進では、障害者の日常生活支援や社会参加の促進のための各種サービスを安定的に提供してきました。




健康づくりの推進では、平成 20 年から成人病予防の目的で始まった特定健診・特定保健指導を実施、妊婦・乳児保健相談、幼児健康診査事業等を実施し、市民の健康増進に努めました。また、色に対する正しい理解を推進するための食育推進活動として、食育講座を実施しました。

地域医療体制の充実では、市立総合病院の機能強化に向けて、救命救急センター、周産期母子医療センターの整備が完了しました。また、市立総合病院と地域医療機関との連携に向けた地域連携パスの実施や紹介率・逆紹介率の向上が図られました。また、南部救急医療機関の整備については、磐田市医師会等関係機関との基本合意書の締結に至りました。

課題としては、子どもからお年寄りまで、さらには、障害者も含めて、地域での見守り・支援活動を進める体制づくりを推進する必要があります。また、子育て支援では、保育園待機児童の解消と併せて幼保一元・一体化への取り組みを進めていく必要があります。地域医療体制の充実では、地域医療の拠点となる総合病院の機能強化とともに地域完結型医療体制の構築に向けた地域医療との連携の強化、南部救急医療機関の早期開業に向けて取り組む必要があります。

■ 基本施策の進捗状況

5 ①地域福祉システムの充実		社会福祉課		
<p>地域福祉システムの充実に向けて、①核となる地域福祉活動拠点の整備、②地域福祉を担う人材育成、③各地域での地域福祉活動支援、④地域福祉活動の啓発を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.07	満足度順位 (41施策中)	14位
	重要度 (5点満点)	3.78	重要度順位 (41施策中)	23位
(2) 主な事業と成果	<p>(仮称)総合福祉会館施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合健康福祉会館が平成20年に完成し、総合的に福祉を推進する拠点が整備された。 <p>地域福祉推進事業(人材養成・地区社協の支援・地域福祉活動の啓発)</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアセンターの活動支援やボランティアコーディネーター育成支援を行い、地域福祉を担う人材の育成に努めた。 地区社会福祉協議会の設立・運営に携わることで、地域住民がボランティア活動に参加できる仕組みが確立し、地域福祉を担う人材が育成された。 地域福祉フォーラムを開催し、各地域間の情報交換を行ったりパネルディスカッションを行ったりして、活動の支援や地域福祉の啓発に努めた。 <p>社会福祉協議会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内20地区のうち、13地区において地区社会福祉協議会が設立され、地域独自の地域福祉活動が展開されている。 			
(3) 指標の動き	地域における地域福祉推進組織の設置数	目標値 (H23) 17地区	実績値 13地区	
	ボランティア活動への参加者数	目標値 (H23) 4100人	実績値 4047人	
(4) 今後の課題	<p>重要度は高いものの市民満足度は平均で、指標も目標値を達成していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みを見直していく必要があります。</p> <p>総合健康福祉会館が機能を発揮するための仕掛けづくり 地区社会福祉協議会の市内全域での早期設立 地域での取り組みの拡充による支え合いの意識の高揚と地域の理解推進 活動を支える担い手の育成</p>			

5②子育て環境の整備		子育て支援課、教育総務課		
<p>子育て環境の整備に向けて、①地域における子育て支援、②仕事と子育ての両立支援、③保護や支援を必要とする子どもと家庭への取り組みを柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が満足度と重要度で分かれています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.01	満足度順位 (41施策中)	23位
	重要度 (5点満点)	4.10	重要度順位 (41施策中)	8位
(2) 主な事業と成果	<p>子育て支援センター運営事業 ・3施設を広い施設へ移転し事業の拡大を図った。 (利用者数 H21 95,485人 H22 109,166人)</p> <p>子育て相談員派遣事業 ・市内全域へ拡大を図った。 (派遣件数 H21 1,995回 H22 1,197回 相談員 10人)</p> <p>親教育講座開設事業 ・年2回継続して実施した。</p> <p>民間認可保育園施設等整備費補助事業 ・公立保育園の統合民営化、私立保育園の増築により定員数の増を図った。</p> <p>ファミリーサポートセンター運営事業 ・講演会等機会を捉え事業の周知を図るとともに、登録会員数 599名へ拡大した。</p> <p>乳幼児一時預かり事業 ・子育て支援総合センター指定管理制度導入により自主事業として実施した。(利用者数 H21 352人 H22 300人)</p> <p>放課後児童クラブ運営事業 ・市内 23 小学校区で 28 クラブを開設した。夏休み期間には各児童クラブのほか、中部小に拠点施設を設け受入れを実施した。</p> <p>児童虐待防止事業 ・ケースワーカー及び家庭児童相談員の増員を図った。市内子育て支援センター等の連携強化及び相談機能の充実を図った。</p> <p>発達障害児支援事業【再掲(P51)】(療育の充実) (障害福祉課及び健康増進課事業)</p> <p>母子家庭自立支援費給付事業 ・母子家庭の母の就業を促進するため、給付金を支給した。 (H20 3件、H21 6件、H22 5件)</p>			
(3) 指標の動き	子育て支援サービスに関する満足度	目標値 (H23) 60%	実績値 21.3%	
	保育園の待機児童数	目標値 (H23) 0人	実績値 47人	
	ファミリーサポートセンター会員数	目標値 (H23) 550人	実績値 599人	
(4) 今後の課題	<p>重要度が高い反面、市民満足度は平均で、指標も目標値を達成していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みについて改善していく必要があります。また、指標の設定については、十分に検討する必要があります。</p>			

5②子育て環境の整備	子育て支援課、教育総務課
	<p>保育園待機児童解消の対策強化 幼保一元・一体化への取り組み体制整備 老朽化した保育施設の耐震及び統廃合を含めた検討 保護や支援を必要とする子どもと家庭への取り組みは、児童虐待防止、DV防止、ひとり親家庭支援、発達支援、母子保健といった各種事業との連携した支援体制が必要。</p>

5③高齢者福祉の推進		高齢者福祉課			
<p>高齢者福祉の推進に向けて、①生きがいつくりと自立の促進、②予防、介護サービスの充実、③地域の暮らしを支えるサービスの充実を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が満足度と重要度で分かれています。</p>					
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.00	満足度順位 (41施策中)	24位	
	重要度 (5点満点)	4.33	重要度順位 (41施策中)	2位	
(2) 主な事業と成果	<p>介護予防特定高齢者通所型事業(かくしゃくだ脳教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防事業の実施箇所数、回数を増加し参加の呼びかけを強化することで、参加者の増加が図られた。 <p>介護予防一般高齢者対象事業(転倒予防教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> 転倒予防教室に多くの参加者があった。 (H20 5,431人 H22 6,324人) <p>老人クラブ支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ連合会の運営を支援し、クラブのあり方等を検討してきたが、会員は減少している。 (H20 8,936人 H22 8,455人) <p>敬老会開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 全地区で、地域(自治会)開催に移行できたため、参加率が上昇した。(H18 37.9% H22 44.6%) <p>介護保険サービス給付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護サービス事業者への指導や連携により、サービス提供は適切に行われ、安定的に運営されている。 <p>家族介護・自立支援生活支援事業(食の自立支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数が増加し、高齢者のみ世帯等の栄養改善と安否確認が行われた。(H18 208人 H22 286人) <p>地域包括支援センター運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターを市内6ヶ所に設置し、高齢者の総合相談窓口として、また、介護予防の拠点として、地域のネットワークづくりを進めている。 				
(3) 指標の動き	介護予防事業の効果による認定者の減少数	目標値 (H23)	481人	実績値 744人	
	高齢者福祉サービスに関する満足度	目標値 (H23)	55%	実績値 22.8%	
(4) 今後の課題	<p>重要度が高く、市民満足度は平均となっていますが、指標も目標値を達成していないものがあることから、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。また、指標の設定については十分に検討する必要があります。</p> <p>介護予防事業や高齢者の見守り・支援活動を地域において活発化させるための体制強化の支援 介護保険サービスの安定的な運営と基盤整備の推進</p>				



H22.末 見込数値

5④障害者福祉の推進		障害福祉課		
<p>障害者福祉の推進に向けて、①相互理解と交流の促進、②福祉サービスの充実、③教育・就業・文化活動の促進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.03	満足度順位 (41施策中)	20位
	重要度 (5点満点)	4.09	重要度順位 (41施策中)	10位
(2) 主な事業と 成果	<p>障害者施策推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい作品展や精神障害者の家族教室等を実施し、障害に対する市民の理解促進と交流の場の提供を図った。 <p>障害者自立支援医療・補装具給付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体障害者に対し職業その他日常生活の能力向上を図るため、更生医療及び補装具費を支給した。(H22 更生医療：受給者 313 人 延べ受給件数 5,729 件、補装具：受給者 160 人、延べ受給件数 207 件) <p>障害者福祉サービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者の日常生活に必要な生活指導、作業指導並びに機能訓練等のための介護給付費及び訓練等給付費等を支給した。 <p>障害者地域生活支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者(児)がその有する能力及び適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう各種サービスを実施した。(H22 移動支援：利用者数 67 人、日中一時支援(デイサービス)利用者数 34 人、日中一時支援(短期入所)利用者数 196 人 等) <p>障害者福祉施設整備費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉施設の施設整備の借入金に対する償還金の助成及び施設建設費等の助成を行った。 <p>発達障害児支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達障害の早期発見、早期支援の体制を築き、子どもの発育に合わせた指導や支援を行った。 <p>在宅障害者援護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅の障害者の日常生活支援及び社会参加の促進のために各種サービスを実施した。(H22 タクシ-利用料金助成：利用者数 819 人 延べ利用枚数 17,791 枚、施設入浴サービス：利用者数 3 人 延べ利用回数 234 回、食の自立支援：利用者数 11 人 延べ利用回数 522 回 等) <p>障害者施設・団体等運営費等助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者施設・障害者団体の運営費等を助成することにより、障害者の社会参加、自立の促進を図った。 			
(3) 指標の動き	障害のある方への理解度	目標値 (H23)	74%	実績値
	障害者の就労の場確保率	目標値 (H23)	10%	実績値

5④障害者福祉の推進		障害福祉課
(4) 今後の課題	重要度が高く、市民満足度は平均となっており、成果の検証に基づき、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。また、指標の設定については、十分に検討する必要があります。	
	障害者基本法の改正や障害者総合福祉法等の上位法の動きに基づく 制度の見直し・制定 多様な交流活動の促進 障害者雇用の促進、県の就労支援事業等との連携	

5年毎の障害者計画策定時に行う、調査をもとに指標設定されており、次回は平成24年度に実施予定

5⑤健康づくりの推進		健康増進課		
健康づくりの推進に向けて、①健康づくりの推進、②保健予防活動の充実を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がやや高くなっています。				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.23	満足度順位 (41施策中)	4位
	重要度 (5点満点)	3.80	重要度順位 (41施策中)	20位
(2) 主な事業と成果	<p>食育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 食に対する正しい理解を推進するための食育推進活動として、公民館等での広報活動や食育講座を実施し、毎年約19,000人が活動に参加した。 <p>筋力向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 筋力向上事業として、貯筋塾及び公民館を拠点としたミニ貯筋塾を開講し、毎年約50人の新規参加者があった。民間の類似事業と重複することから平成22年度をもって事業を廃止した。 <p>国民健康保険特定健康診査等事業（名称変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診・特定保健指導、2次検査等を実施した。平成22年度の特定健診受診者は13,393人で43.2%、特定保健指導は663人で52.2%の実施率であった。2次検査は125人に実施した。 <p>健康教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会・出前講座等の健康教育、健康相談、訪問指導等を実施した。平成22年度は健康教育225回4209人、健康相談245回952人、訪問指導は実人数468人延べ537人に実施した。 <p>健診事後相談事業(特定保健指導事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険特定健康診査等事業に統合 <p>妊婦・乳幼児保健相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦、乳幼児の健全な発育の促進や育児不安解消のため、講座・相談・健康教育を実施した。平成22年度は、講座4,196人、相談5,966人、健康教育5,907人に実施した。 <p>幼児健康診査事業(乳幼児相談・健診でのフッ化物塗布・洗口)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1歳6か月児および3歳児に対して健康診査を実施した。平成22年度の受診者数は、1歳6か月児健診が1,471人、3歳児健診が1,554人だった。 <p>母子栄養管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦・乳幼児保健相談事業および幼児健康診査事業に統合 <p>母子歯科保健事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦・乳幼児保健相談事業および幼児健康診査事業に統合 			
(3) 指標の動き	成人の肥満割合	目標値 (H23) 男 20% 女 13%	実績値 男 23.9% 女 15.6%	→
	子どものむし歯の本数	目標値 (H23) 1本以下	実績値 1.07本	→
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに高くなっていますが、指標が目標値を達成していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みの手法について検討する必要があります。</p> <p>各世代に応じた健康づくりの推進 母子支援と生活習慣病の重症化予防対策の充実</p>			

5⑥地域医療体制の充実		医療支援課、医事課、健康増進課		
<p>地域医療体制の充実に向けて、①市立総合病院の機能整備、②地域医療連携体制の構築、③救急医療体制の充実を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価はほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.07	満足度順位 (41施策中)	13位
	重要度 (5点満点)	4.43	重要度順位 (41施策中)	1位
(2) 主な事業と 成果	<p>市立総合病院機能強化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター、地域周産期母子医療センターの整備が終了し、市民の医療ニーズに応えた機能の整備を進めている。 腫瘍センター建設に向けた実施設計段階が終了した。 <p>市立総合病院地域医療連携推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 7件の地域連携パスの実施や紹介率や逆紹介率の向上など、地域医療の連携向上が図られた。 <p>市立総合病院電子カルテシステム導入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステムの導入に向けた準備を進めた。 <p>南部救急医療機関整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 南部救急医療機関の整備について、磐田市医師会等関係機関との基本合意書を締結した。 <p>夜間急患センター運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 磐田市医師会及び浜松医科大学の診療協力を得て、一次救急医療体制の確保に努めた。(夜間診療時間 19時30分から 22時30分) <p>休日等在宅当番医事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 休日等在宅当番医事業を医師会の協力の下実施している。 			
(3) 指標の動き	入院患者の早期社会復帰度	目標値 (H23) 14日	実績値 13.1日	
	地域医療連携の充実度	目標値 (H23) 60%	実績値 60.8%	
(4) 今後の課題	<p>重要度はきわめて高く指標も目標値に到達しているものの、市民満足度は平均となっており、これまでの取り組みの方向性について見直していく必要があります。</p> <p>腫瘍センターの建設と効率の良い診療体制、病床配置、職員配置等の改善による地域医療の拠点としての機能強化 地域完結型医療体制の構築に向けた慢性期疾患の連携パスの構築 南部救急医療機関の早期開業</p>			

歴史遺産や文化・スポーツなどの多様な地域の魅力や資源を活用しながら、観光その他の交流を活発化するとともに、農林水産業や商業・サービス業、工業の振興、新産業の誘致・育成など、民間活力を活用しながら地域の経済を支える産業を活性化し、交流と活力のあるまちづくりを目指します。

<前期計画期間の総括>

農林水産業の振興では、既存農業者の経営基盤確立を目的とした研修会を行うとともに、新規に農業に参入できるよう、企業への誘導活動や初心者対象の農業塾を開講し、農業の担い手確保に向けた取り組みを行いました。また、優良な農業振興農用地を確保するため、基盤整備を進めるとともに、耕作放棄地対策にも取り組みました。

商業・サービス業の振興では、平成 21 年に大型商業施設が出店し、市内での購買率向上と交流客数の増加に大きな効果がありました。また、「磐田はーとふる商品券」事業を開始し、市内商店における購買力向上に努めました。中心市街地の活性化を目的とした、「ジュピロード夏まつり」や若手店主らによる「軽トラ市」が開催され、多くの客でにぎわいました。

工業・新産業の育成、振興では、新設した遠州豊田 PA 周辺工業団地を中心に、合わせて 51 社の誘致を行いました。また、中小企業の支援を目的とした施策説明会や産業交流会を開催や、繊維産業の支援のための広報活動を行うとともに、市と企業の連携を深めるため市職員が中小企業を訪問して情報交換を行う「がんばる企業応援団」も実施し、中核的産業である製造業の支援を行いました。

観光・交流の振興では、大型商業施設の出店により、観光交流客数は大幅に増加し、ここを拠点とした市内の情報発信を行いました。

課題として、世界同時経済不況の影響、さらには東日本大震災の影響により中核的な産業である製造業に大きな落ち込みがみられ、短期労働者の解雇等により雇用環境も影響を受けていますが、新たな成長に向けて、中小企業の連携支援、雇用対策などを行うとともに、新たな工業団地の開設に向けた調査・研究、EV(電気自動車)産業等の新産業の誘致にも取り組んでいく必要があります。また、農林水産業を取り巻く社会情勢は非常に厳しい状況にあるため、現担い手の育成に加え、企業の新規参入の誘導・新規担い手の支援・育成等により担い手の確保に努めるとともに、耕作放棄地対策も含めた優良農用地の確保、地産地消や 6 次産業化等に継続して取り組む必要があります。また、大型商業施設での購買力を生かし、市内への経済効果波及とともに、引き続き市内商店の振興に向けての仕掛けづくりや人材の育成に取り組んでいく必要があります。



基本施策の進捗状況

6①農林水産業の振興		農林水産課		
<p>農林水産業の振興に向けて、①安定した農業経営基盤の確立、②生産環境の保全・整備、③市民・都市住民との交流推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がやや低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.93	満足度順位 (41施策中)	29位
	重要度 (5点満点)	3.79	重要度順位 (41施策中)	22位
(2) 主な事業と成果	<p>米政策改革推進対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者重視・市場重視の米作りの本来あるべき姿の実現を図るため、生産調整の実効性確保に向けての事業を行った。 <p>農用地利用集積事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠州中央農協の転貸事業との連携により、1507haの集積を図った。 <p>担い手農業者認定・育成支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存農業者が経営基盤の確立を図られるよう研修の場を提供した。 ・民間企業の農業への参入を推進するため、誘導活動を実施した。 ・新たな担い手の育成を目的とした農業塾を、関係機関の協力のもとに開催する予定となった。 <p>農業振興地域整備計画策定事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画を策定し、優良農用地の確保・保全に努めた。 <p>湛水防除事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安久路調整池の暫定供用を開始。計画調整容量の69%を確保した。 <p>農業基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農振農用地の生産基盤整備率が52%を達成するとともに、施設の維持管理に努めた。 <p>県営福田漁港整備費負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産業の振興及び地域の活性化を目的に施工する県営漁港整備事業の推進を図った。 <p>福田漁港関連施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港関連施設の管理を行い、水産業の振興及び漁港施設の有効利用を図った。 <p>水産資源放流育成支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協の行う稚魚放流事業の支援をし、水産業の活性化・振興及び漁業資源の安定確保を図った。 <p>林道管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施業道・作業道L=1.2kmを整備するとともに、林道についても適正な管理を行った。 <p>地産地消推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食地場農畜産物拡大事業をおこない、学校給食での市内農産物の使用割合が5.6% (H20) 8.7% (H21) 14.9% (H22) になった。 			

6①農林水産業の振興		農林水産課				
	<p>グリーン・ツーリズム推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NTNの森林ボランティア活動に資材提供を行い都市部と中山間部の交流を図った。 <p>ブルー・ツーリズム推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくで漁港まつりの開催を支援し、漁業者と地域住民との交流を図った。 					
(3) 指標の動き	農用地に占める担い手の利用割合	目標値 (H23)	45%	実績値 (H21)	38.5%	→
	農用地利用集積事業実施面積	目標値 (H23)	1550ha	実績値	1507ha	→
(4) 今後の課題	<p>重要度は高く、市民満足度は平均となっていますが、指標は目標値を達成していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。</p> <p>農業従事者確保に向けた法人の誘導支援及び新規参入者の育成・指導 耕作放棄地化される農地の抑制と優良農用地の確保 市特産品を守る 生産・加工・販売までを一貫して行う6次産業の育成</p>					

6②商業・サービス業の振興		商工観光課		
<p>商業・サービス業の振興に向けて、①商店街の魅力づくり、②やる気のある個店の発掘、③新たな商業振興の創出を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が極めて低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.64	満足度順位 (41施策中)	41位
	重要度 (5点満点)	3.58	重要度順位 (41施策中)	29位
(2) 主な事業と成果	<p>商業振興事業(空き店舗対策・商品券事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地空き店舗対策として、15店(平成22年度までの累計)の出店支援を行った。 ・磐田はーとふる商品券事業を実施。(原動機付自転車購入奨励金) ・ららぽーと磐田が出店し、地元購買率が向上した。 ・携帯電話クーポンを活用した市内回遊サービスの実施。 ・商店会連盟事業費補助により、ワンコイン500円市や個店診断、元気塾などを開催した。 ・いわたブランド化事業の検証。 ・磐田カレーPRチラシ、啓発用のぼり旗、看板等作成。 <p>商工業振興団体支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4商工会の合併調整を支援し、平成20年に合併が成立した。 ・プレミアム商品券事業への補助。 ・磐田駅前商店街のにぎわいづくりのためのジュビロード夏まつりが平成19年から始まった。 ・軽トラ市実行委員会が若手店主により自主運営され、平成23年3月に第1回を開催、その後の継続開催に向け準備を進めている。 ・中心市街地を活性化するまちづくり会議による提言書がまとまり、商工会議所に提出された。 			
(3) 指標の動き	小売業の年間販売額	目標値 (H23) 148,673 百万円	実績値 (H19) 141,722 百万円	↘
	いわたブランド化事業での販売額	目標値 (H23) 100 万円	実績値 (H21) 14.8 万円	↘
(4) 今後の課題	<p>重要度は平均以上に高いものの、市民満足度は低く、指標は目標値を達成していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みについて見直していく必要があります。</p>			
	<p>中心市街地の活性化のための仕掛け(商店後継者・高校生・大学生・専門学校生など) いわたブランド化事業の再構築 若手リーダーの発掘・育成</p>			

6③工業・新産業の育成、振興			商工観光課	
<p>工業・新産業の育成、振興に向けて、①中小企業の育成・振興、②新産業の誘導、③地場産業の振興を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.79	満足度順位 (41 施策中)	35 位
	重要度 (5点満点)	3.85	重要度順位 (41 施策中)	19 位
(2) 主な事業と 成果	<p>中小企業支援事業(産業支援ネットワークの推進、産学官民の連携、工業団地連絡会の支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業支援施策説明会や企業交流会を開催し、中小企業への支援とネットワークづくりを進めた。 ・平成 22 年度には、異業種交流のきっかけづくりとして「磐田市産業交流会」を開催し、163 社・240 名の参加があった。 ・市職員によるがんばる企業応援団を立ち上げ、市内約 180 社の中小企業との関係強化に努めている。 <p>企業立地推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊田 PA 周辺工業団地を中心に 51 社を誘致した。 <p>繊維工業団体支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繊維産業の広報活動として、東京ギフトショー等への出展や磐田市コミュニケーションセンターでの展示会を実施するとともに、コーデロイハウスを関係団体が開設し、活動を広げている。 			
(3) 指標の動き	製造品出荷額等	目標値 253 (H23) 百億円	実績値 162.1 (H21) 百億円	
	従業員一人当たりの製造品出荷額	目標値 62.3 (H23) 百万円	実績値 44.4 (H21) 百万円	
(4) 今後の課題	<p>重要度は高い反面、市民満足度は低く、指標も目標値を達成していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みについて見直していくとともに、世界的経済危機の地域への影響等を分析し、時代要請にかなった新しい事業を推進する必要があります。</p> <p>新たな工業団地候補地の選定と企業誘致 電気自動車(EV)産業への転換への対応 繊維を中心とした地場産業の振興策の推進</p>			

6④観光・交流の振興		商工観光課		
<p>観光・交流の振興に向けて、①観光の魅力づくり、②観光の情報発信、③観光の拠点づくり、④観光の仕組みづくりを柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.76	満足度順位 (41施策中)	37位
	重要度 (5点満点)	3.44	重要度順位 (41施策中)	34位
(2) 主な事業と成果	<p>観光振興事業(いわた春まつりの開催、集客PR)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわた春まつりの各種イベント集客数は、年々増加している。 ・観光パンフレットの作成(テーマごとの図鑑シリーズ作成) <p>広域観光・ネットワーク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ららぽーと磐田内コミュニケーションセンターにおいて観光情報などの情報発信を行うとともに、電動アシスト自転車を利用した周遊コースの案内を実施している。(サイクルマップ作成) ・食文化研究会によるいわたおもろカレーのPR活動を支援し、B級グルメスタジアムや各地のイベントへ参加した。 <p>観光施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見付観光駐車場を供用開始し、地元イベントなどに解放した。 <p>観光施設維持管理事業(資源活用・住民参画・観光案内板)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちあるき観光案内板を平成20年度に4箇所設置した。 ・見付観光駐車場用地を取得した。 <p>磐田市観光協会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主財源確保のため、協会会員から会費の徴収を開始した。 ・観光振興ビジョンの実践により、交流客数300万人を達成した。 			
(3) 指標の動き	観光交流客数	目標値 (H23) 300万人	実績値 312万人	
	観光消費における 経済波及効果額	目標値 (H23) 300億円	実績値 286億円	
(4) 今後の課題	<p>重要度は平均以上の高い値を示しているが、市民満足度は低くなっており、これまでの取り組みを改善するとともに、成果の検証に基づいた事業のあり方を十分に確認する必要があります。</p> <p>第2次観光振興ビジョンの策定及び実践 観光情報の発信力強化 広域連携による観光イベント等の開催 観光協会組織の強化と自主事業の実施 観光ボランティアガイドとの連携事業の実施</p>			

6⑤雇用環境の充実		商工観光課		
<p>雇用環境の充実に向けて、①安定した雇用環境の推進、②生き生きと働く環境づくり、③勤労者の福利厚生の実施を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価は満足度と重要度が大きく分かれています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.71	満足度順位 (41施策中)	40位
	重要度 (5点満点)	4.10	重要度順位 (41施策中)	9位
(2) 主な事業と成果	<p>雇用安定対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で事業を起こした企業等の代表者を小・中学校に派遣し、授業の一環として講演を行い、勤労観や職業観、起業家精神を培う啓発事業を実施した。【参加者 730人(6校、延べ12回) = 平成22年度実績】 ・平成22年度には、新卒者の雇用対策のため、大学、短大、専門学校を対象とした合同就職説明会を実施した。【参加者 企業38社 学生151人】 <p>職業訓練校施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練校実技棟の耐震補強工事が平成21年度に完了した。 <p>勤労者福祉サービスセンター支援事業(福祉共済制度の支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業の勤労者に総合的な福利厚生事業を行う財団法人磐田市勤労者福祉サービスセンターへ補助を行った。 <p>勤労者総合福祉センター施設管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜開館など利用者サービスの向上に努め、年間204件(平成22年度実績)の増となった。 ・職業相談に年間約380件、内職相談に762件の利用があった。(平成22年度実績) <p>勤労者協調融資事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅資金融資は年間103件、教育資金融資は年間15件を実施した。 			
(3) 指標の動き	職業相談の利用者数	目標値 (H23) 350人	実績値 380人	↗
	磐田市勤労者サービスセンターの会員事業所数	目標値 (H23) 370所	実績値 351所	↘
(4) 今後の課題	<p>重要度が高い反面、市民満足度はきわめて低くなっており、これまでの取り組みを重点的に改善していくとともに、世界的経済危機の地域への影響等を分析し、時代の要請にかなった新しい事業を推進する必要があります。</p>			
	<p>労働者の働きやすい環境づくり 勤労者の技能・知識習得のための支援 新卒者及び求職者の雇用対策</p>			

7

計画推進のために

この計画の着実かつ効率的・効果的に推進し、目標を達成するため、「市民」・「地域」・「行政」の3つの力を高め、住民自治の考え方を基本とした市民と行政の協働のもと、新たな都市発展・反映のモデルとなるまちづくりを目指します。

<前期計画期間の総括>

計画の推進のための、市民の力を高める取り組みとしては、協働のまちづくりの第一歩として、「磐田市協働のまちづくり推進条例」を施行し、協働してまちづくりを進める基本理念の確立や市民活動支援の拠点となる市民活動センターを条例化するなど体制の整備を進めました。また、市民と行政が一緒になって事業を手掛ける協働提案事業を導入しました。

地域の力を高める取り組みとしては、自治会連合会とともに各自治会への活動支援を実施することで、地域が主体的に行うさまざまな地域活動が活発化されてきました。また、地域の活動拠点となるコミュニティセンターの開設に取り組み、福田地区において開所しました。



行政の力を高める取り組みとしては、行財政改革に取り組んできました。財政の健全化、行政サービスの向上としての公共施設への指定管理者制度の導入、行政組織の見直しとしての組織のスリム化、職員の資質向上に向けた職員研修の実施及び定員適正化に向けた計画的定員管理等を推進してきました。

一方、市民活動、地域活動については新しい動きは見てきたものの、社会情勢の変化や多様化・複雑化する市民ニーズにより、複雑化する課題に対応するためにも関係者が協働して取り組む仕組みがますます重要になってきています。しかし、協働に対する市民の満足度や理解度もあまり高くないのが現状です。このため、市民活動センターを核として市民活動に関わる人材・団体の育成及び活動の支援に向けた取り組みを検討・推進する必要があるとともに、職員の理解も深める必要があります。また、地域活動を支援するコミュニティセンターの整備も今後の活動充実に向けて必要となっています。行政においては、社会情勢の変化や多様化・複雑化する市民ニーズに対応するため一層の行財政改革を進め、財政の健全化、行政サービスの水準の向上、職員の資質向上を進め、効率的な行政経営を進める必要があります。

■ 基本施策の進捗状況

7①市民の力を高める		自治振興課、秘書広報課		
<p>市民の力を高めるために、①協働の仕組みづくり、②まちづくりを担う人材育成、③情報提供と情報公開の推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がやや低くなっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.99	満足度順位 (41施策中)	25位
	重要度 (5点満点)	3.41	重要度順位 (41施策中)	36位
(2) 主な事業と成果	<p>協働のまちづくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働のまちづくり推進条例を施行し、協働のまちづくりを推進する基本理念と体制を整備した。 市民活動団体の支援を行う市民活動センターを条例化するとともに、専門知識を有するNPOに運営を委託し、利用者に近い運営を開始した。 <p>いわたコミュニティバンクシステム構築・運用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存人材バンク制度の検証を実施したが、新制度の構築にはいたっていない。 <p>まちづくりサポーター育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりサポーター育成事業は、サポーター間の関係強化を図るとともに、利用者となる市民活動団体等との関係を強化するため市民活動団体事務局となる市民活動センターによる運営方式を採用した。 <p>生涯学習講座等開催事業【再掲(P30)】(学びの師)</p> <p>市民活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体と行政とが一緒に事業を進める協働提案事業を実施し、毎年5件の事業が実施されている。 <p>広報いわた発行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 経費節減、自治会負担の軽減を考慮し、月1回の発行に変更した。月2回から1回の発行となるが、情報の質の向上や、紙面構成の工夫を行い、より充実したものとしている。 <p>市ホームページ運用・管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報、ホームページ、新聞、ラジオ等を通じて、協働提案事業を始めとする各種事業等を紹介している。 広報誌、ホームページのリニューアルや報道機関への積極的な市政情報の提供を実施し、行政情報が市民に届くよう工夫をしている。 <p>ラジオ・テレビ広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内を対象としたラジオ放送が始まり、市内の魅力発信に努めている。 <p>情報公開・個人情報保護制度運用事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページや市政情報コーナーにより庁内の審議会等の情報公開に努めている。 			

7①市民の力を高める			自治振興課、秘書広報課	
(3) 指標の動き	市民と行政との協働事業件数	目標値 (H23) 100 件	実績値 70 件	→
	まちづくりサポーター登録者	目標値 (H23) 300 人	実績値 40 人	→
(4) 今後の課題	<p>重要度は高く、市民満足度は平均となっていますが、指標は目標値を達成していないことから、成果の検証に基づき、これまでの取り組みを見直してしていく必要があります。</p>			
	<p>協働のまちづくりに対する行政・市民の一層の理解促進 市の魅力を効果的に発信するシティプロモーション実施に向けた研究</p>			

7②地域の力を高める		自治振興課		
<p>地域の力を高めるために、①市民活動団体の育成、②地域コミュニティの促進、③コミュニティ拠点等の整備を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価がほぼ平均となっています。</p>				
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	3.02	満足度順位 (41施策中)	22位
	重要度 (5点満点)	3.42	重要度順位 (41施策中)	35位
(2) 主な事業と成果	<p>市民活動推進事業【再掲(P63)】 市民活動団体活動拠点提供事業 ・「市民活動センター」を公の施設と位置付けるため、条例化した。 ・地域の活動拠点となる、福田コミュニティセンターを開所した。</p> <p>自治会・自治会連合会支援事業 ・自治会連合会及び304単位自治会の活動支援のため、活動資金の支援を行い、防犯活動や環境保全活動等の各種地域活動の支援をしている。</p> <p>地域づくり活動支援事業(地域振興基金の活用) ・地域の特色を活かした、自主的・自発的な地域づくり活動を行う約40団体に対し支援した。</p> <p>地区コミュニティ計画策定事業 ・廃止</p> <p>公会堂整備費補助事業 ・自治会のコミュニティ活動の拠点となる公会堂の建設に対し、毎年3~4自治会に補助した。</p> <p>コミュニティ設備整備費補助事業 ・自治会の公会堂の修繕や掲示板の設置等に対し、毎年50~60自治会に補助した。</p>			
(3) 指標の動き	NPO交流センター利用者数	目標値 (H23) 4700人	実績値 4627人	
	地域づくり活動団体数	目標値 (H23) 60団体	実績値 41団体	
(4) 今後の課題	<p>市民満足度、重要度ともに平均で、指標も目標値を達成していないことから、これまでの取り組みを見直していく必要があります。</p> <p>市民活動団体の運営力強化に向けた支援 市民による自主的な地域コミュニティ活動推進に向けた支援及びけん引役となる人材の育成 地域活動拠点となるコミュニティセンターの整備推進</p>			

7 ③行政の力を高める		政策企画課、職員課、財政課、消防総務課				
<p>行政の力を高めるために、①行政運営の効率化と効果的な推進、②適正な人事管理と組織力の強化、③財政運営の健全化、④広域行政の推進を柱に各種事業を実施した結果、市民の評価が低くなっています。</p>						
(1) 市民の評価	市民満足度 (5点満点)	2.78	満足度順位 (41施策中)	36位		
	重要度 (5点満点)	3.95	重要度順位 (41施策中)	15位		
(2) 主な事業と成果	<p>協働のまちづくり推進事業【再掲(P63)】 行財政改革推進事務 ・行財政改革実施計画では、88課題のうち、82課題を実施し、改革に取り組んだ。 ・定員適正化計画に基づいた職員数の削減を進めた。 ・市内76施設において指定管理者制度を導入し、民間の効率的で優れたサービスによる施設運営に努めた。</p> <p>行政評価推進事務 ・行政評価システムを導入し、内部評価によるPDCAサイクルを実施している。</p> <p>行政情報化推進事業 総合窓口システム構築事業 ・総合窓口となる市民相談センターを設置した。</p> <p>広聴事業(市民の声担当窓口等の設置検討) 秘書広報課広報広聴室にて担当している。</p> <p>人事管理事務(能力とやる気を引き出す人事管理の推進) ・組織パフォーマンスの最大化を目指した人事異動を実施した。 ・人事考課制度の見直しに着手した。 ・職員の意欲向上を目指した他の自治体との人事交流を実施した。</p> <p>職員能力向上研修事務 ・職員の階層別や業務別に求められる能力や資質向上のための研修を年間56本実施した。 ・都市間競争に打ち勝つための政策形成能力の向上を目的とした研修を、若手職員を中心に実施した。</p> <p>効率的組織機構検討事務 ・効率的な業務運営のための組織機構の見直しが着実に進んだ。</p> <p>中期財政計画策定事務 ・経済危機による財政状況の悪化に伴い、計画の見直しを図り、財政の健全化に努めた。</p> <p>広域消防運営計画策定事業【再掲(P42)】 広域消防指令施設等検討事務【再掲(P42)】</p>					
(3) 指標の動き	経常収支比率	目標値 (H23)	85%	実績値 (H21)	87.0%	
	実質公債費比率	目標値 (H23)	17%	実績値 (H21)	13.7%	
	普通会計における人件費割合	目標値 (H23)	18.5%	実績値 (H21)	16.7%	

7 ③行政の力を高める	政策企画課、職員課、財政課、消防総務課
(4) 今後の課題	<p>重要度が高い反面、市民満足度は低くなっており、これまでの取り組みを重点的に見直していく必要があります。</p>
	<p>効率的な行政経営を進めるための行財政改革の取り組み 職員のやる気を引き出す人事管理制度の再構築の実施 適正な財政見通しにもとづく財政計画の策定 多様化する市民ニーズや社会情勢に的確に対応するための組織力の向上と職員(人材)の育成の強化</p>

磐田市総合計画前期基本計画
評価・検証結果報告書

平成 23 年 3 月

発行：磐田市 企画財政部 政策企画課
磐田市国府台 3 番地 1 〒438-8650
TEL：0538-37-4805 FAX：0538-36-8954
E-mail kikaku@city.iwata.lg.jp